京城日報　廿七日夕刊
KEIJO NIPPO　大正五年十一月二十八日（一）（火曜日）
（明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可）

○老西開事件と佛國訓電

佛國代理公使は二十四日本國より左の意味の訓電に接せりと（北京特電）
老西開事件に對して平和解決は固より望む所なるも一歩も退讓するは宜しからず飽迄英國公使調停にて決せる條件を保留すべし云々

○愈露國首相の更迭

露國首相スチュルメル氏は海軍大臣と衝突の結果十一月二十四日より二月二日迄議會に休會を命じ紛擾中の所愈々辭任して式部長官となり其の後任として交通大臣トンポフ氏任命せられたり（外務省著電）

○獨艦隊の襲撃退けらる

倫敦に於て發表せらるゝ所に依れば、六隻の獨逸驅逐艦隊は二十三日夜ダウンス東海岸に襲撃を試みたるも擊退せられたり（紐育電報）

○獨墺軍羅國に優勢

伯林に於て公表さるゝ所に依れば獨墺軍はシムニッツア附近に於てダニューブ河を通過し羅馬尼に一陣地を獲得しアルト隘路の南部に於て更に三都市を占領し將校三百名兵士八百名を捕虜とせりと（桑港電報）

○ヒンデンブルグ元帥
獨裁的地位を極度迄利用せん

アムステルダム來電＝ヒンデンブルグ元帥は其の獨裁的地位を極度迄利用せんとするもの、如し外相ヤゴー氏を辭職せしめたるも元帥なりと信ぜらる蓋元帥は自己を以てモルトケとビスマークとを兼ねたるものと爲すに至れるなり（倫敦電報）

○石川縣選擧無效判決

大審院に於て審理中なりし石川縣知事の上告に係る石川縣選擧投票無效事件は廿七日上告棄却の宣告ありて知事側の敗訴に歸せり其結果同縣は全部再選擧を行ふに至るべし（東京特電）

○立太子禮賜宴

廿七日正午宮中豊明殿に各皇族殿下高位高官者一千二百名を召され立儲禮の饗宴を賜はりたり（東京電報）

○新入營兵渡鮮

朝鮮師團に入營すべき新兵廿七日渡鮮の途に上れり（東京電報）

○佐藤少將通過

陸軍少將佐藤祐次氏は演習地より尚山を經て二十七日朝新羅丸にて釜山著同十時三十分發列車にて鐵嶺に直行せり（釜山特電）

◎立太子奉祝宴

二十七日は立太子禮御饗宴の第一日なるより山縣政務總監は同日午後六時三十分朝鮮ホテルに於て總督府及び李王職の勅任官以上、所屬官署の長、朝鮮貴族、中樞院顧問官以上並に軍、師團の勅任部長以上等六十四名を招待立太子奉祝宴を張る

◉農技官會同（第一日）

各道農業技師並に勸業模範場木浦、纛島支場技師等二十餘名より成る農業技術官會同第一日は二十七日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、山縣政務總監、宇佐美內務部長官、小原農商工部長官をはじめ農商工部各課長、農務課技師高等官等出席し小原長官議場整理の下に直に日程に入り午前午後に亙りて諮問事項の答申あり四時散會せり

◉水產會議延期

總督府にては十二月十一日より鮮內十二道の水產技術者を召集第二會議室に於て水產技術者會同を開催の豫定なりしも都合に依り無期延期となれり多分同會同は明春二三月の頃を期して開會の事となる可し

◉土木局北青工營所廢止

土木局元山出張所々屬北青工營所は十一月三十日限り廢止さるゝ事となりたり

◎吉會鐵道の敷設機運

▲吉會線敷設權　咸北會寧より北滿洲吉林に至る所謂吉會鐵道の敷設權は明治四十二年日支兩國間に間島所屬問題の喧しかりし時帝國に於て間島を支那の領土と認むる交換として吾が手に收めし物なるが爾來八星霜を閱せしに拘はらず諸種の關係は何等全線敷設に對する具體的の實現をなさしめざりき

▲敷設の機運　然るに吉會線敷設の曉き北方連絡鐵道となるべき吉長線（吉林長春間）は數年前滿鐵より支那政府に資金を貸附けて敷設せしめ既に營業を開始し南方連絡線たる滿會鐵道は去る五日より其の約三分の二方營業を開始し明年に至らば全線開業の運びに至るべく乃ち吉會未成線の南北兩連絡線は全く完成せんとしつゝあり殊に昨年の日支新條約により滿洲に及ぶ帝國の勢力は從來に比し一層深く且つ厚さを增しかりと見るを得而して前述の如く我が總督府が約八百萬圓の巨費を投じ吉林會寧間の瓦礫地に鐵道を敷設せしは吉會線との連絡成つて始めて有意義なるものに屬し清津港灣改良問題の新しく油の乘り來れる實情等より彼此綜合して觀察すれば吉會線の敷設機運は最近大に進み來れるの狀にあり

▲敷設の方法　吉林會寧間は約三百哩未だ鐵道豫定線として實測せしものなき由なれど大體に方て踏査せし向の談を聞けば山岳丘陵等には難工事少なきも唯河川多く鐵橋には相當の費用を要すべきも總敷設費約三千萬圓內外の見當と見積り大過なかるべし而して帝國に於ける其の敷設方法の協定は日支合辦の下に之れが工事を起すべしとなり居り乃ち支那側を加ふれば帝國に於ては官設とするも民營とするも不可なき譯なれど諸種の關係は吉會線に國帑を割き得ざる事情もあるべく結局日支合辦の組織にて一會社を起すか若くば南滿洲鐵道の手を借り一便法を講じ之れが敷設を行ふか二途其の一に出づるを適策とすべし

▲結局新設會社　大體より云へば滿鐵の敷設に一任するを最も適當とすべきも大連集中主義を事毎に執らんとする滿鐵は吉會線滿會線通じて北滿物資需給の途此方面に開くるに至らば自然滿鐵本線の營業狀態に及大連の繁榮に惡影響あり滿鐵が吉會線を比較的冷眼視しつゝあるは多くの此の理由を含み居れり從つて吉會鐵道の敷設は政府斡旋の下に日支合辦の一會社を起すの外なからんかとの說あり清津方面にては滿會線全通期の切迫に伴ない吉會線敷設の急要を絕叫すべしと

◉重石輸出取締
荷受人の誓約書を要す

戰時中の輸出品取締に關し內地に於ては大正三年農商務省令第二十二號朝鮮に於ては同年總督府令第百三十八號を以て許可を受く可き物品を指定し、就中重石鑛其の他特別の物品に對しては實際の取扱に於て地方長官は輸出許可申請の際申請者をして一定の宣誓書を提出せしむることゝなり居れるが今後は內地、朝鮮とも一層之れが取締に注意し米國向重石鑛の輸出に付きては右宣誓書の外に尙ほ申請者をして若し荷受人が之れを他に轉賣する場合には其の買受人の氏名を最寄の帝國領事へ通報する旨を明記したる荷受人の誓約書を提出せしむといふ

◉浦鹽禁輸と釜山
當局に請願す

釜山商業會議所にては廿五日開會の役員會に於て協議の結果外務大臣及び朝鮮總督に請願書を提出する事に決定せし旨は既報の如くなるが該請願書は愈左の通り廿六日郵送せられたり（釜山）

請願書

朝鮮の對露貿易狀態は近年益進展の趨勢を呈し來り今や其輸出額平時尙百萬圓以上を算するに至り昨年の如きは一躍參百萬圓以上となり歐洲開戰以來露國軍用米の需要增加と共に我鮮米の輸出も頗に激增致候而已ならず食糧輸出も亦前途有望と相成此趨勢を以てせば戰後の鮮露貿易は大に其面目を一新すべき機運に際會致候然るに今回突然露國政府に於ける浦鹽輸入禁止令の發布を見るに至りたるは日露國際親善上甚だ得策たるものに無之は勿論漸く進展の機運に向へる鮮露の貿易を阻礙し朝鮮開發に重大の影響を及すものにて寔に憂慮に不堪次第に有之候就ては此際同國に對し該令撤廢方御交涉被成下度切望の至に不堪候萬一該令の撤廢は同國に於ける軍國臨機の措置として事情の許さゞるもの有之候とせば左記事項に對し我當業者を滿足せしめられ候樣至急相當御措置被成下度港民を代表し此段奉願上候

一、輸入禁止の範圍に屬すべき貨物の品名を公示せられたきこと
二、貨物の輸入許可願提は可成簡の手續に依り且在浦鹽當該官廳に於て處決せられたきこと
三、豫め輸入禁止期間を明示せられ度き事
四、輸入禁止令實施期間に係る取引契約の貨物に對しては該令を適用せざること

湖南飛脚
鯨洋生

□裡里より　恰も松汀里が、光州への交通咽喉の如く、裡里は全州と、群山とへの交通の衝に當り居れり。加ふるに、全州平野の一部に位置す、交通の便、農業上の形勝、其の市街の發展は、蓋し當然なり。目下の裡里が、更に躍進の形狀にあるは、之れ乃ち自然の勢なりと云ふべし。茲に特筆紹介に値するものは、當地學校組合にして、組合員の同心協力、計畫整序、正にその當を得て、多額の組合財產を有するが故に、萬事について、頗る穩健に發達進步す。されば同組合が、曾て其の功を賞せられて、大金盃を與へられた朝鮮有數の善良なるものなりと、推賞せられたるに見るも、其の半面を知るに、充分なるべし。未だ未だ裡里は、大なる將來を有す。裡里が、裡里たるの本色を發揮するは、尙ほ將來にあり（廿六日）

□全州より　松汀里を發し裡里に至る、驛內小生を頻に物色する者あり、舊友飯泉君の使者也。誘はれて朝日舘に入る、但し裡里よりの全州行輕便鐵道列車の發車には約二時間の閑あれば也。飯泉君は東拓金堤出張所の移民係なり久濶を謝し幸に金堤東拓の狀況を尋ね、斯くする內全北日々新聞理事田中君來る。聞けば一列車前に全州に歸る筈なりしと、小生の來るを聞き、案內の爲め一列車を延期し、乃ち待ち居たりと、多謝に堪へず。此の日半晴半曇、頗る暖か也。旅舘庭上の楓樹、燃るが如く紅にして何とも云へぬ雅美也。湖西湖南に來つて、始めて眞紅の楓葉に接し、一段其の色なつかし。聞けば此樹は、內藏山より移植したるものなりと。只其數少なきを遺憾とす。旅舘を辭し、輕鐵に乘じ全州の平野を走す、田中君窓より平野の說明詳細也。今夏水害の跡今尙ほ偲ばれて、慘狀を懷ふ。盡ざるに早くも全州に入る（廿六日）

□再び全州より　早起すれば雨霏々、旅舘は全州川の清流＝と申せば大川の如きも實は小流れ也＝に臨み、多佳山と相對す、多佳山は全州の公園也。山麓欅木多し、杪頭多少の褐色を存す、雅氣あり。支局井手君と共に、各所訪問、所要を了つて歸舘。全州は背後に山脈を負ひ、茫々たる全州大野に接する、地形上より申せば、言ひ分なき所從つて農業地たるは、何人の目にも第一番に映ずる處也。何處も同じ船腹不足と共に、停滯米の處分法に就き、大分頭を惱し居れり。乃ち全北唯一の呑吐港たる、群山港の船腹不足は、直に全北農界に直接關係あれば也。今夏の水害の爲、米收は多大の減額なるべしなど、竊に全北農界の爲、心配しつゝありしは、獨り全北人士のみならざりしが、目下各地に收穫中の籾は、何れも意外の增收なるも唯其の品質に於て、斤量の減ずるを免がれざるべしと。然れども是は又た、止を得ざる事なるべし。斯る苦痛を減殺し、農界の安全を守保せんとせば、先づ萬頃江の、水害豫防の施設にあり、河底浚渫にあり。船腹問題などは、一時的の物也（廿六日）

◉南鮮滯貨と朝郵配船

釜山群山兩港滯貨輸送に對する朝鮮郵船會社の船繰は吉田朝郵專務談として既報せしが其後若干相違の事となり重複を厭はず就航狀況を記載すれば

▲群山港　從來朝鮮郵船にて浦鹽航路に使用の忠清丸（七二〇噸）を十七日頃群山發阪神に航行せしめ其後月內に折返し群山阪神間に就航せしむべく一回の積取量は約四千石なり

▲釜山港　同じく浦鹽航路に使用中の錦旗丸（一〇〇〇噸）を十二月五日頃釜山より神戶へ一回就航其の積取量約七千二百石並に目下定期修繕中の咸鏡丸（七五〇噸）を十二月一日頃釜山發阪神へ臨時一回就航其の積取量約四千石なりと

◉鐵道總務課長
和田參事新任

兒玉鐵道局理事內閣拓殖局長に轉任後缺員の儘なりし鐵道局總務課長は廿七日左の如く發表されたり

鐵道局參事　和田駿
鐵道局總務課長を命ず

◉大村氏報告會

京城商業會議所にては二十八日午後六時より開會の筈なりし大村書記長等の露領貿易狀況視察報告會は都合により午後四時より開く事に繰上げたるが會場は會議所樓上にて一般の傍聽は隨意なりと

◉水越氏來鮮期

鮮銀理事より新に北海道拓銀頭取に轉じたる水越理平氏は來る十二月三日東京出發渡鮮の途に就き五日夜入京の筈にて滯京約二週間の後二十日頃京城を引揚ぐべしと

◉价川輕鐵近況

三井物產會社經營にかゝる价川輕便鐵道十一月中旬の營業成績を見るに乘客一千六百三十八人小荷物一千三百六十八斤貨物一千三百四十一噸にして收入一千三百十六圓五十錢なり

平壤

▲棉花集散狀況　平壤驛集散の棉花狀況を調査するに本年十月より十一月二十二日までの數量は到著五十四噸發送百十噸にして產地は生產江東龍岡中和の四郡に積出驛は與池洞四十四噸中和驛五噸南浦驛九噸なり而して仕向先は木浦に四十二噸榮山浦に六十七噸にして目下百斤の相場十三圓前後の由

▲牛肉車の改造　平壤府經營の屠獸場より市內牛肉販賣店に搬出する車臺に不完全の者少からず爲に車上の牛肉箱より血液の點々漏洩し路上を汚す事少からざるより平壤署は二十五日搬送車所有者たる獸肉販賣店に對し改造又は修繕を命じたり該車臺總數は十五臺ありと

▲巡查補採用試驗　平南警務部に於ては廿四日午前十時より巡查補採用試驗執行したるが志願者百四十一名に達し午前中體格及び學術試驗を行ひ午後二時より口述試驗を執行したり今回の採用人員は約二十名なるが試驗及第者にして特に私費生希望の者をも採用すべしと云ふ何しろ二十名の巡查補採用に對し百四十一名の志願者を出したるが如き稀有の事實なりと

▲新井中佐出發　今回七七聯隊附中佐より第十一師團參謀に榮轉せる新井龜太郎氏は二十四日午後一時卅分發列車にて任地に向け出發せり

安州

▲新舊安州近況　一時三井輕鐵開通の爲め悲觀を極めたる新舊兩安州は昨今に至り商業上何等の影響を蒙る事なく反つて該鐵道開通後は與行荷物旅客增加し商賣安州商人の荷物積出しも低廉に取扱はれ居て利益する處多く至極健實なる發展を遂げつゝあり兩地共補助貨の拂底極度に達し爲めに商人は取引上多大の困難を感じつゝあり

▲憲兵廳舍新築　安州憲兵分隊は其廳舍狹隘にして執務上不便なる所より新築する事となり去月初旬より起工中なりしが此程に至り大部分の建築を終了したれば多分十二月中には新廳舍に移轉執務するに至るべしと

▲大倉組と製錬所　今春以來設立を傳へられたる新安州大倉組製錬所問題は其後杳として消息を聞かず或は該問題は一種の人氣取り風評なりしかと思はれつゝありしが大倉新安州電氣部員の談によれば目下諸方面に於て研究中にて大規模の製錬所を建設するも材料を得る途なくば如何共致方なく或は小規模のものを建設して漸時事業成績を見て大規模にするか何れにしても該製錬所は明春早々出現すべしと

安邊

▲學藝展覽會　咸鏡南道安邊公立普通學校及び私立學校は生徒學藝展覽會及び秋季運動會を去る十日開催したるに參觀人無慮四千五百餘人に達しさしもに廣き校庭內も一時は立錐の餘地なく大に雜沓を極めたり

▲大豆出盛期　安邊邑內附近は追日大豆の出盛期迫るに迫りたるを以て目下大阪濱野商會京城共益社支店、元山岡野商會等孰れも前金を渡して買締め策を講じ居れり其の競爭の結果一斗三十四五錢位のものが本年は四十錢より順次騰貴し目下四十五六錢を持續し居れり故に大豆の代金丈けにても二萬圓以上は確かに本郡全體に濕ふ次第なるにより農家の景氣は大に活氣を呈し居れり

仁川

▲久水府尹上京　久水仁川府尹は二十七日午前十時發にて事務打合せの爲上京一泊の上歸任の筈

▲出入船舶　二十七日朝鄕江原丸は芝罘青島大連方面より入港田鄕秀吉丸は大阪より釜山木浦を經て入港したり

▲古物商增加　仁川に於ける古物商許可數は最近內地人七十三名鮮人百一名にして昨年に比し著しく增加したり此れ警務部に依り鍛冶屋、自轉車修繕、時計商等をも古物商に編入したるに依るものなるが不景氣の結果資本を要せざる本業に稼業替したる者も多しと

光州

▲光州電燈起工期　小倉武之助氏外十名より出願中なりし先般許可されたるが會社設立認可と共に株式の募集に著手し其上にて直ちに起工する由なれば本年中には必ず著手さるべく竣工は來年五六月頃ならんと尤も募集株式の如きは極少數にて大部分發起人にて受持を以て只募集は形式のみなるべしと

▲靈光品評會　靈岩郡生產品評會は二十四日より開會二十五六七三日間審査を行ひ二十九日褒賞授與式を擧行する由にて道よりは審査員五名同地へ出張せしが閉會式には道長官代理出張すべし

▲宮木長官歸宅　和順綾州同福南原方面へ出張中なりし宮木長官及び隨行員は二十四日歸任したり

▲新兵入營期　光州大隊に入營すべき本年度新兵七十名は來月五日來光六日入營式を行ふ筈にて光州市民は例の通り大いに之を歡待すべしと

▲三浦警視來光　警務總監部附三浦警視は廿五日來光警務部憲兵隊の事務を視察せり

大邱

▲四十旅團長披露宴　先般步兵第四十旅團長として大邱に赴任せる金久保少將は十二月二日當地官民有志を大和に招し披露會を催す筈

▲神尾中佐出發　今回中佐に榮進し步兵第六十二聯隊附を命ぜられたる前步兵第四十旅團副官神尾直次氏は愈々廿九日午後零時二十分大邱發の南行列車にて出發

▲牛尾氏轉任　慶北道書記牛尾軍太郎氏は今回總督府へ轉任を命ぜられ數日中に赴任すべし

▲學校父兄會　大邱尋常高等小學校にては今回家庭と學校との連絡を計る爲廿六日午前九時半より父兄會を開き生徒の教授並に運動等を實地觀覽せしめたり

釜山

▲商業學校落成期　本年三月八日火災に罹り燒失したる釜山公立商業學校（鮮人）は九月十二日より元敷地に再築中なりしが本年中には落成の見込なるを以て明年一月より新校舍に引移ることを得べしと

▲繁榮會例會　釜山繁榮會十一月例會を廿五日開催の筈なりしも會場差支の爲め廿七日に延期し同日料亭鳴戶に於て開會す

▲田中少將の著發　佐世保鎭守府工廠長海軍少將田中盛秀氏は鎭海要港部の修理工廠並に同要港部の施設視察の爲め來鮮廿六日午前入港高麗丸にて著釜同十時三十分發列車にて鎭海に向け出發滯在は三四日の豫定にて同地より直に佐世保に歸任の筈なりと

▲王丸大尉送別宴　釜山守備隊長王丸大尉は今回少佐に昇進し平壤に榮轉せるに付き官民有志發起となり近日送別會を開催せんと協議中なり

人事消息

▲高洲規氏（群山日報社長）　二十七日朝退京
▲廣岡惠三氏（大同生命常務）　同上
▲アラツリ氏夫妻（米人）▲ツアプト氏▲ミッチエル孃▲コクロー夫人（以上英人）　同上
▲向井嶷氏（平壤覆審法院檢事長）　事務打合の爲め二十五日出府を命ぜらる
▲佐賀縣商業學校職員生徒二十三名　二十六日午後仁川へ
▲持地土木局長　二十六日午後平康より鐵原へ
▲尹澤榮氏（侯爵）　二十六日午後金浦より歸京
▲尹德榮氏（子爵）　同上
▲小澗元司氏（鎭南浦久原製錬所長）　二十六日午後入京山本旅館へ

●長白山下の神秘郷

五哩四方の城壁=韓登擧王と稱す
事あれば武器を持つて起つ老幼五千

松花江の上流に沿つて吉林から二百五十淸里ばかり溯ると樺樹林縣といふ支那政府の知縣衙門があるが

■不思議の事に 此知縣衙門には昔から知縣が居つた事が無い此の邊は凡て韓登擧と云ふ男の所有地で有つて支那官憲と雖も韓登擧の許可を得ずして其の領內に踏入れば生命は何時奪られるか分らない韓登擧は今でこそ長白山下の隱れたる一獨立國の國王で居るが昔は滿洲馬賊の棒の樂を上げて昨日は彼處の市街を燒き今日は此處の官署を襲ひ人を殺して財を奪ふ事を稼業として居つた

■馬賊の頭目で あつた處が機を見るに敏なる彼は日露戰役も濟み滿洲の秩序も恢復せられ漸次鐵道が開通して交通が便利に成ると共に永く馬賊を働いて居る事は結局身の破滅であると氣付て滿朝の馬賊慰撫の詔に應じて歸順を表し淸廷から正四品かの位を賜はり吉林省の山奧に引込んだ此の際も彼は堂々二千四五百名の部下を率ゐて樺樹林に居を構へ附近百五十哩四方の地內に居住して居る支那

■住民を征服し 之等の人民を使役して五哩四方の城壁を築造せしめた、又彼は淸廷に請ひて知事の簡派を乞ひ自分から堂々たる知縣衙門を建築して知縣以下の官吏を之の內に居らしめた處が或日知縣は韓登擧の邸宅に招かれし際韓に對して禮讓を失つたと云ふ廉を以て其の夜の內に韓の部下七八百名は知縣衙門を包圍し知縣以下の官吏と其の家族を合して鏖殺しにして終つた之れから以來と云ふものは

■誰一人として 樺樹林縣の知縣と成つて赴任する者もなく淸廷も亦茲に知縣を置く事を爲なかつた民國政府に成つてからも韓登擧は依然樺樹林國王として五哩四方の城郭の中に居り國內から徵集した百數十の兵丁に由りて守護されて居る、城內には各十數棟の糧食庫及び兵器庫、火藥庫、被服庫などが有つて何時でも國內に動員を下令して五千の

■國民男女全體 が兵器を執つて外敵に當り得るの組織に成つて居る城內には立派な市街が有つて人民は安らかに商取引を營んで居る城外には田圃開け農牧が盛んである此の王國では阿片を製造する爲め非常に深山の罌粟の栽培をも行つて居る又松花江に沿ひたる大森林は何れも韓登擧の所有で多數の國民及び他の出稼支那人朝鮮人等が伐木に從事して居る

■材木は筏に組 んで松花江を流下し遠くハルビン邊まで悉く韓登擧の木材が勢力を占めて居る此の領內の旅行者は韓の免狀が無ければ直ちに擊殺されるが韓の免狀が有れば何處へ行つても款待され旅費なしで何日でも旅行を續けることが能きる韓登擧も折々哈爾賓邊へ出て行くが何時も二十名位の護衛を隨へて居る小銃は多く

■歐洲戰亂前に 露國から輸入したもので今は四千二百挺ばかりと野砲が三四門あるとの事である彈丸火藥其他の武器は兵器工廠があつて自作自給して居る行く〳〵は小銃も製作しやうと云ふので研究をして居る又國法としては簡單なる憲章が制定されて居る其れに由ると王は世襲である、王は殺生與奪の大權を持て居る事は勿論である例へ王の命令なれば怨嗟する事は能きぬとして

■蒙つて死んで も王の命令に從ふのである又學制が發布されて普通學校は各處に設立され專門學校は韓登擧の邸內に設けられて居る國內の人民は他に居住して居ると馬賊の害官兵の掠奪の憂ひが有るが此の王國內に居ればそんな心配は不要ぬから悦んで移住して來るが容易に居住の許可を與へないとの事である

◆右側を通行せよ

京城本町通りは以前より右側通行は嚴重に勵行されゐたりしが黃金町、南大門の兩通りにては車馬通行に際し右側通行を守らざる者多きため種々の事故發生するより今後は通行車馬にして右側を通行せざるものは嚴重に處罰さるべしと

●近畿地震

神戶被害甚し

二十七日朝又も微震あり二十六日の地震は近畿地方北陸山陰山陽道の一部にも震動せしが神戶は被害甚だしく松方幸次郞氏表塀倒れしを始め崩潰十數箇所道路に龜裂を生せし所もあり通行人に負傷者を出せり(大阪特電)

●釜山大火

全燒十九戶半燒三戶

二十七日午前四時釜山西町二丁目八番地九號の空屋より出火したるが折柄風吹き荒める事とて忽ち附近に延燒し一福樓藤瀨病院其他全燒十九戶半燒二戶に及び同五時二十分鎭火せるが此の時附近の商業會議所講堂に飛火したるも直ちに消し止めたり損害約四萬圓原因不明目下嚴重に取調べ中なり(釜山特電)

●起重機から海中へ眞逆樣

荷物人夫二名の重傷

仁川外里張凡伊(二六)同花町李學先(五二)の兩人は廿六日午前十一時頃朝日組荷揚人夫として雇はれ艀舟共榮丸より汽船扁一丸に仕役として乘込まんとする際艀より上るを面倒と思ひてか本船に設備ある起重機に外五人と共に箱に摑まつて約三時間位の空中に吊上げられたる處身體の重みに堪へられずアッと言ふ間に墜落し李は最初に艀の端に突當りて海中に跳ね飛ばされ續いて張も李の眞上に墜落したるより艀人夫を始め本船員大いに驚き溺れんとする人を救助して船中にて應急の手當を加へたる上佐藤病院に擔ぎ込みたるが張は輕傷なるも李は仲々の重傷にて生命危篤なりと(仁川)

◎虎疫終熄未し

▽釜山は一日二名平均

一時猖獗を極めし內地の虎疫も漸く終熄し各流行地の警戒解除されると共に神仙臺の檢疫所も廢止されたる今日釜山にては昨今一日平均二名の患者を出しつゝあり何時終熄を告ぐるか推測すること能はず這は昨今の氣候が溫暖なるためならんと(釜山)

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

△俗謠題(土)

○地方巡業で鍛ねた身體晴の十日に土つかず(一等) 京城光化門 東海

▲明日は賣られる土藏の屋根に秋のあはれな啼く鳥 京城 廣安 汀舟

▲枯れた紫苑のその鉢なりの土に泣く簫篥むし秋 元山 內山 香恩

▲土の扉には兵糧積んで蟻は忍な冬籠り 京城 米 曉

▲野良の騷ぎに氣も晴れ〳〵と土瓶片手の晝が行く 釜山 金子 鳳來

■課題及び募集規定は欄外にあり

◎苑南洞の小火

二十六日午後七時半頃京城苑南洞九六金龍淳方溫突の焚火より失火し折柄の烈風にて大事に及ばんとせしも常備消防隊出動即時消止めたり

●大虎を斃す

高原山中の活劇

咸南元山里上里に居住する本田貞信は銃獵旁々附近林森調查の爲め高原郡內飛雲峰の連山を跋涉中雌雄二頭の大虎に出遭ひ非常なる危險を冐して內一頭を射止め去る二十四日元山に歸來せり同人の語る處に依れば同方面は人跡頗る稀なる深山にして野獸甚だ多く特に山羊の如きは大群を爲して橫行せるを見たり射止めたる虎は最初二頭にて現れたるを以て其一頭雄を射擊したるに彈丸は大腿部に命中して斷崖より墜落したるが此有樣を目擊したる雌の一頭は凄じき吼聲を發して飛懸り來りたるを以て全力を盡して漸く危險を免れ後最初に射止めたる筈の一頭を谷間に探りたるも既に何れにか去りて其姿を發見し得ざりしより翌日更に天明を待ちて前日谷底より逃れたる足跡を求めつゝ追跡する事一里餘に及び再び件の手負虎を發見し意を決して短距離に肉薄して脊部に二發を發射し首尾よく功を奏したるなりと因に前日第一發を發射したる際徒に猛く虎の吼聲に驚きて何處よりともなく現れたる無數の山羊が斷崖を攀ぢて右往左往に逃げ迷ふ樣頗る壯觀を呈したり尙射止めたる虎は四十餘貫の逸物なりと(元山)

●急に寒くなつた

忽ち十二度降下

暖かい〳〵と云つて居つた氣候が廿六日の夜から廿七日の朝にかけて急に寒く成つた京城測候所長の話に由ると此れまで暖かであつたのは北支那方面の氣壓が引續き非常に低度を示して居つた爲め滿洲朝鮮各地共に例年になく暖氣が續いて居つたが廿六日の朝に成つて大連の南方に在つた低氣壓は徐々と滿洲朝鮮の境上を通過して同日午後浦鹽方面に去つたが之れが爲めに國境を中心として朝鮮滿洲各地に降雨があつたが低氣壓が去つてから後蒙古の方面から高氣壓襲來した爲め氣溫俄に降下し二十七日朝は零下二度を示した之れを例年に比ぶれば通例の氣溫であつたに拘らず前の日の二十六日朝までの氣溫が平均十度であつて例年よりは十度も溫かであつた爲め一日の間に十二度も差が有つたから非常に寒氣を感じた譯である朝鮮でも國境地方は二十七日の朝零下十二度以上を示して居ると

◎官私印僞造判決

官私印僞造行使詐欺取財として豫て京城地方法院の公判に附せられたる山形縣生れ京城櫻井町二丁目居住の大泉友治郞外二名は此程友治郞は懲役三年六箇月、町田庄作は無罪、森まきは懲役四箇月(二年間執行猶豫)の判決ありたり

◎壽座內部改革

料理屋組合の經營に屬し居りし劇場壽座は本月十四日限り返還前經營者姬野氏の手に興行一切を經營する事となり劇場內部の改革を行なひ來る一月より面目を更めて開場する事となるべし

◎白鼠尾を出す

埼玉縣北足立郡々戶村生れ京城南米倉町居住深井喜衞門(二八)は元本町二丁目秩父屋吳服店に雇はれ吳服類の行商をなしゐたるが本年五月以降賣揚代金を一回に約五六圓宛前後十一回に亙り橫領消費したる爲め本町警察署にて取調べの上檢事局へ送られたり

◎身の代金詐欺

佐賀縣藤津郡古枝村生れ咸南咸興郡當町居住口入業吉田國助(五八)が本年二月中咸興の料理屋二軒より藝娼妓二名を浦鹽に連れ行きて賣却したる身の代金中より僞造借用證書を以て約八十圓詐取したる事件は咸興地方法院にて懲役六箇月の判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴したる結果此程前判決を取消し懲役六箇月(二年間執行猶豫)の處分となれり

◎猩紅熱

京城黃金町一丁目秋葉つ子(六つ)は二十五日診斷猩紅熱と判明し患家は消毒の上同人は總督府醫院に入院加療中

◇蒙古犬

獰猛な氣質=危險なる夜の旅行=死を怖れぬ蒙古人=戰爭は強い

蒙古の內情、蒙古人の生活狀態などは今更珍らしい事でもないが最近蒙古から歸つて來た人の話の內に聊か耳新らしい事もあるから少しばかりそれを記して見やう

太古蒙昧時代の遊牧民と同じ樣な生活をして居る蒙古人は天幕の中でその正面に喇嘛の像を飾り中央に爐を切り冬はその爐中で馬糞を燒きて暖を取り牛又は山羊の乳、その乳酪、小麥など喰つて活きて居るのだから極めて

◆簡易な生活 をして居る譯だが日が暮れると直ぐ天幕の中で寢てしまうので頓と點火といふ事をしない隨つてランプや電燈の如きものを知らず其の智識の低いことてんでお話にならない試みに蠟燭を出して之れに點火して見せると彼等は奇蹟を發して驚き老人の如きは夜中斯んな事をしたら神樣から罰を受けはしまいかと恐怖したといふ話もある位だ我が維新前に外國から輸入された

◆ランプを田舍に持つて 行つて點火して見せたら其の明るいのに膽を消したといふ事もあるが蒙古人の時代に遠ざかつてゐることは夫れ以上であると言へよう若し電燈を見せたら夫れこそ眼玉をでんぐり返へして吃驚する事だらう蒙人の智識の概して低いことは此の蠟燭の一件でも分るのであるむく犬のやうな恰好をした蒙古犬の慓悍なことは最早何人も知つて居るだらうが他國人が蒙古を奧深く旅行する際に最も注意しなければならないのは

◆蒙古馬賊と 虻の襲來の外に犬の襲擊である日中は滅多に犬を見ないが夜中になると蒙古犬は眼から爛々たる光を放つて見馴れぬものと見ると誰彼の差別なく凄まじい權幕で飛びつきそして喰ひつく迂かりしやうものなら咬み殺されて了うソコで旅人は成べく夜中步かないことに極めておく必要がある犬は一家の主人の持物で日中はどういふものか日の光を恐れる日中永く放つておく

◆此の獰猛な奴が忽ち弱り込んでしまうので晝間は滅多に外に出さない恐らく習慣の致す所だらう蒙古人が犬を夜警用にしたのは種々の事由あることで馬賊の襲來に供したのはその第一の事由であらうと思ふ夜は强いが晝は弱り込むと云ふのが要するに蒙古犬の特性であると思へば間違ない蒙古人は概して死を怖れない或る日本人が蒙古人を案內にして蒙地奧へ旅行したとき例の

◆鹽湖の邊に 來て之を渉らねばならぬ向ふに行けないが何うして渉れば好いかと訊くとお待ちなさいと云つて妙な綱を渡してサアこれに摑まつて渉りなさいと云ふ見ると極めて纖弱な綱で何だか危なつかしいので斯んなものを賴りにして渉つたら途中で切れて湖の中に落ちて死んでしまうかもしれぬぢやないかと云ふとそれは何とも受合はれない死ねばそれ迄である、

◆死ぬことを恐れては 駄目であると言つたさうだ此の死を怖れぬ思想は惟ふに喇嘛敎の信仰から來たものらしく彼等は一樣に一種の宿命觀を有してゐると言へやう蒙古人が今でも戰爭にかけて案外に强いのはその爲だらうとのことだ(大連)

●汗の力(三)

有ゆる勞作を忍ぶ
=支那苦力の收入=

萍を遂ふて異國に漂ひつゝ惡食を貪り弊衣襤褸を身に纒うて孜々營々と勞働する苦力の生活は前記の如くである、夫の收入はと言ふと

◆豐凶 に依つて差異はあるが大抵一年間の純益が六七十圓で本年の如きは菜大根其他が約半減作であるから一昨年から從事して初冬の交から歸國する者は八九十圓內外浦鹽から歸る團體が二期經過で百圓一期で四十圓

◆平均 である此外鮮內各方面の工事に從事し居る職工は工事の都合上歸國する者無く元山の奧地咸鏡北道等に居る者は不景氣の爲め七割迄は

◆歸國 を延期して居るが何れも一年間の貯金高が二十圓を下らない彼等の日給は浦鹽方面で苦力が露貨の一圓職工は一圓四五十錢朝鮮では石工や其他の職人は內地人と朝鮮人の中間にあり漢江の空氣壓搾器中で働く六十餘名の人夫の如きは非常に

◆高率 の賃金を取て居り通譯を從へて朝鮮各地を往來する鑄掛屋の如きは支那人勞働者中最も勞少くて最も利益多く近年では年末毎に百數十金を携へて鄕間に正月を送るのは此の

◆職業 に從事する者許りであらう彼等は如斯萍を遂ふて異國に漂泊しつゝ有ゆる勞作と忍苦に依つて得た金を歸國後如何に處分するかと言ふに多くは田畑を購ひ家を建て、獨立自營の途を講ずるか、妻を迎へて彼等の所謂大光漢の

◆侮辱 を脫するか、負債の償還に充てるかである、本月に入つてから仁川港を經て歸國した苦力は既に三百餘に達し十二月に至つて最も增加する時期であるが國紊れて民離散する支那の現狀では彼等も

◆不安 であると見ねて從來は年末に歸國して正月を迎へ四月頃再び出稼ぎした者が二三年來二期三期と繼續する者が多くなつた相である=終り=(仁川支局)

灯ともしごろ

過日大阪の見學から歸つたサクラバアの女將曰く△大阪のカフェーやバアは主に中の島附近の會社銀行のあるあたりに多いのでございますが何れも羨しいほど繁昌して居ます△そして何れの小さいバアでも卓子といふ卓子が入れ變り立ち變り千客萬來の御客樣で殆んど十分廿分の短時間にお晝の食事を認めてさつさと去つて行かれます△それで給仕の女は何れも擔當の卓子番號を記した前掛を著て鉛筆の走りがきに勘定書を記して居りますが中には電車の回數券のやうな切符で支拂をなさる方もございます△時間は正午頃から一時過ぎまでが中食の客で夕方のお客は散步の人が多いやうです△また芝居寄席などに致しましても非常に賑いお金で見られますから浪花座あたりはお午頃から札止めの景氣で何れにしても大變な人氣でございます△またバアの給仕は男が多くカフェーは主に若い女でございますが何れも十錢二十錢のお客が多いのはほんとにバアやカフェーの必要が感じられてる證據で羨しいと思ひました

◎追出れて亂暴 便所に至り喫煙したる際煙草の吸殼を落し遂に同家の便所一棟を燒失せ…居住の知人を便りて全南地方より入京したるも以前より擺り居たり…

◎連絡船上陸客 十一月廿六日 一等客四名 二等客…

◎課題募集規程 ▲用紙は端書又は…一枚毎に紙上の雅號又は匿名…

天氣 北又は西の風晴れ

●大正六年來る
作法正しく新年を迎へて多幸なれ

▲お正月を迎ふる儀式作法と其料理法を心得ぬは主婦の耻なり

我國には昔よりお正月を迎ふるに國粹の美風たる一定の法式あるも現今漸く此心得ある人の減少して無作法の中に新年を迎へて心ある人の物笑ひとなり貴き一年を不愉快に送る人多きは實に遺憾の極みなり誰にも一年の計は年の始めにありと言へば作法正しく古雅にして優美なる日本特有の式に由つて幸多き年を迎へ向上發展せられたきものなり記者は玆に

▲板垣伯爵夫人發行の料理禮法講義錄の內容を紹介して讀者の參考に資せんとす

▲正月儀式料理 正月の飾附け即ち長熨斗松こぐし等を三盆に飾り附るには如何にするか又正月の式膳は如何なるものにて其調理法は如何にするかを圖入りにて說明し尙ほ「▲門松を建る事▲注連飾の事▲歲德神の事▲若水の事▲御櫛始めの事▲大福茶の事▲年男の事▲寶船の事▲日月祝の事▲風呂始の事▲連歌の事▲六日歲越と若菜進上の事等詳細に說明せり

▲正月重詰料理 お正月は如何なる家庭にても第一に供へ置かざるべからざるは重詰料理なり此必要缺くべからざる重詰の拵へ方數種を掲載せり

▲正月三日料理 三ケ日は極めて重要の日なり去れば此の三日には如何なる料理が必要なるかを說けり

▲正月酒饌獻立 御祝儀の屠蘇すみ先づお屠蘇と云ふ場合に乙な正月の酒饌獻立を要するは酒を嗜む者に何よりも嬉しいことで是等の獻立は料理の心得ある主婦の技倆の見せ所なり

▲餅と調和する料理 俗に言ふ餅腹の後に適するあつさりとした料理は何がよきか之れはお正月には上戶…

▲雜煮拵へ方 各地方各々下戶上戶老人子供の別なく喜ばるゝものなり其趣を異にせる多種多樣の雜煮あれば其中より數種を撰み出して說明す

▲巳年に因める新案料理 同會講師 生心流家元由本先生の同料理は極めて美術的のものなれば各家庭に於ても之れに習ふて調理し大いに大正六年を祝福せられたし

▲年中行事▲西洋料理▲禮儀作法▲支那料理▲和洋菓子▲家政學▲漬物の漬方等必要の事項につき同會附屬帝國女子割烹學校と帝國調理師研究會とに於て當代一流の大家を聘して實地に研究敎授せるものを假名さへ讀める人には誰れにも判る樣に丁寧に說明せる實用通信講義錄なれば切に手を取つて敎へらるゝより一層了解し易く結構此上なき良書なれば滿員とならぬ內に明日と言はず今日只今直に入會せらるべし

▲正月料理より新學期開始

▲入會手續きは 一箇六ケ月一圓九十五錢一ケ年三圓六十錢にて半年修業、一年卒業なり而も每月…さるゝ美麗なる講義錄は合本に纏めれば立派なる藏書となり一生の相談相手となるべし

▲五大特典 入會金免除…

▲內容見本と規則書を 一見したき人には申込次第無代進呈すべし遠慮なく

東京本鄕元町一ノ三 東京割烹講習會へ申込まれよ
振替口座東京一九四一〇
電話下谷五六九二

(今日只今此正月號より入會せよ)

◎京城と社交機關の必要
子爵 趙重應氏談

趙子爵其他朝鮮人側の有志に依り大正親睦會と稱する社交機關を組織し日鮮人間の親睦を圖るべく計畫中なりし事は曩に報道し置きたるが右に付發起人趙子爵は語りて曰く

我京城は朝鮮の首府で總督府の所在地であるから何彼に就て各

▽地方の模範 とならねばならぬのであるが各地方では勤倹貯蓄、殖産興業、風紀の矯正、納税義務の勵行、衛生思想の普及、慶祝日の奉祝、各人相互の親睦愛助、道徳心の涵養、内鮮人の融和團結其他良風美俗の發達を著々實行して其効績が顯著であるにも拘らず京城には

▽此等に關する何等の機關も未だ備らずして却つて地方に及ばない傾がある尤も地方は其區域が狹小であつて總ての事情が單純であるから共同協力の機會が多く此に反して京城は事情が複雜で其部分が稍廣く各種の階級に別れて居る爲め随つて之が

▽一致を圖る べき機關も備はらず毎に何事かに逢著すれば議論百出、意志の疏通を缺ぎ或は誤見誣行はれ種々の弊害を生ずるのみならず未だ舊習を脱せずして只管空想に驅られて各自に自覺奮發の精神が缺げて居る之を思へば

▽我々京城人 は地方人に對して慚愧の至りである最も痛切に感じた事は今年の虎疫流行に際して自衛的公徳心なく防疫に對する何等の衛生的施設がなかつた一事を以てしても速に何等かの機關の成立せんことを希望して已まぬ是に於てか我京城に於て

▽社會の模範 たるべき人士が相謀つて玆に一つの機關を作り大正聖明の一大記念として特に大正親睦會と命名して良辰佳節其他の機會に於て談笑和樂の間に各自意志の疏通を圖りて吾人の新進社會の萬一の助となし更に進んでは

▽内鮮人士の 同化を助け完全無缺の一大社交の機關となし國家に對する忠良なる精神を涵養し以て各道地方に對する最善の模範とならんことを期待して居るのである

◆冬向きの食べ物

寒く成つてお酒が美味しくなると同時に色々粋な食物が出て來た、今年は不漁が多くて品が一體に不足で從つて原料も高く成つては居るもの丶矢つ張りさうは上げられぬさうで例年と値段に大差はない

■カラスミ 之はボラの子を塩漬にしたもので長崎の野母で出來るのが本場で沼津邊でも拵へて居るが矢張り本場のと比べると品が落ちる相場は一腹三圓位から四圓五十錢位のところ一腹七八十匁から百匁位のものだから可成り高い

■ウニ筋子 はすゞこ三寸瓶三寸五分六角形の瓶で越前産のは七十錢北海道産で三十五錢と云つた相場筋子の粕漬は百目三十錢で鮭の粕漬は切身一つ七錢共に北海道の産、數の子も是れからが全盛で鹽漬にした三升枡入りが九十錢位だが是は正味は二升位しか無い

■海藤花 はタコがタコ壺に子をひり付けた奴を取つて鹽漬にしたもので百匁一圓内外、本場は播磨である海膽は十枚九錢アミ、烏賊が百匁十五錢位何れも貧乏の好む處である

■色んな粕漬 鯛の粕漬は内地産は房州伊豆邊のもので百匁八十錢興津の甘鯛の粕漬が一尾三十錢位鮎の粕漬と來たら[illegible]に限るので百匁一圓二三十錢で是も廉くは無い

■鮭の燻製 鮭の燻製は喫ひが厭だと云ふ人等は未だ未だ眞の味を知らぬ人の事一尾八九十錢から一圓二三十錢迄ある

■鮎のうるか 鮎の子を鹽辛にしたこうるかは百匁一圓二十錢位同じく腸を鹽辛にした苦うるかが百匁六七十錢其他鮎の山吹漬は切身一つで五錢位の相場何れも粋な食物丈けに廉い物はないが是等の物を食膳に上せてチビリチビリ傾ける處に云ひ知れぬ味はひがある

[illegible]仁弘方に赴き[illegible]斧を持ち來り[illegible]仁弘方の壁二箇所を叩き壞し[illegible]

行旅病者 大阪府河内郡新堂村生[illegible]村西治三郎（[illegible]）は頃日京城本町[illegible]出でたれば行旅病者として二十七日京城府に引渡したり

長春夜話（三）
古道生

財政廳長の彈劾

■吉林省 財政廳長李祚楨君はこの頃ひどく攻撃されてゐる、財政廳長といへば吉林省の大藏大臣である。省の行政は政務廳と財政廳との二つに分れてゐる その一方の長官である。これが省議會で議員の謝雨中等五人から彈劾的質問をうけて大に窮迫せられた。その要點は李は前きに吉林省内磐石縣の銅鐵局長であつたが一躍して現職に登つたけれども、好田にして私を逞ふする人物であつて、現に銅鐵局長在職中に於て支那銀貨を偽造して數萬圓をせしめたのみならず、各商號の飯收證も殆んど一人の手に成つてゐるので是亦偽造に相違ないといふのが彈劾の重なる條件であつた。それからゴタゴタくは

■省議會 に絶ねないのであるが、近頃に刊した民生日報では、蹈込んで李廳長を攻撃し初めた。民生日報といふのは廣東人の集合であつて可なり前さきがあらいやうである日報曰く『全省の金融機關は一■業者の希望無し國を誤り民を失す（中略）省議會は全省人民の代表たり官吏を監督する責あり官吏公款を侵吞するあらば正當の手續を用ゐるを妨げず（下略）』と、一兩日前にも李廳長の走狗として沈弊臣、郭教庭の兩名が長春へやつて來たといふて大騒ぎをしてゐる、之が爲めに民生日報社の附近は巡警が張り番をしてゐるといふ騒ぎである、元來吉林省の官吏が、

■彈劾を うけるなんどは必しも珍しい事ではない、齊燮琳といふ巡按使も隨分ヤカマしく鬪はれたものだし、ツイ先き頃まで省の長官であつた孟恩遠なども捲彈劾をうけたが分らなかつたが、彼はその都度甘くきりぬけて行つてしまつた。であるから李廳長の彈劾事件も龍頭蛇尾に終つてしまふかどうかは分らないが、兎も角吉林長春の間の支那側に於ける相當注目すべき一事件であるには相違ない。支那時文が日に盛ずる我が

■日本文 を採つて行くことの多くなるのは著しいことであるが、前記の民生日報の文を見ても直ちに首肯せられるであらう、その金融機關云々といひ又正當手續云々と書くなどは全く日本文の丸出しである、新しい、そして複雜した思想を云ひ顯はすには到底從來の支那語だけでは取扱ひ能はぬことを説明してゐるかと思はれる、同時にこの新しい日本の

■翻譯語 を用ゐるのはとりも直さず日本から新しい思想の注入を得なければならないことを證明してゐるではないか。

◎慈善音樂會
白耳義婦人の爲に

白耳義寡婦孤兒救濟の爲め斡旋しつゝある京城内地婦人有志者は道に憐むべき白耳義婦人の爲めに醵金すべく來月二日朝鮮ホテルに於て慈善音樂會を開催すべしと

◎各隊署聯合運動會

京城道警務部、京城憲兵隊本部、昌德宮、本町、鍾路の三警察署、龍山京城の兩憲兵分隊及び京城常備消防隊の各隊署聯合を以て十二月一日（土曜日）午前十時より光化門内景福宮の廣庭に於て大運動會開催の筈當日は出場競技人員は六百三十餘名の多數にて二十數回の競技あるべしと

◆一日に七十餘の婚禮

咸南元山附近にては舊慣に依り鮮人間の婚姻は春秋二季の内にて最も吉日を撰み擧式する例にて普通最も多き日にて約二三十軒位なりしが去る二十三日の神嘗祭當日は元山里附近のみにて實に七十餘軒の鮮人婚禮ありたる由にて斯の如きは元山地方にても殆ど前例を見ざる事なりと

神社とお寺と教會

◎大正親睦發起人會 大正親睦會發起の事は既報の通りなるが二十九日午後八時より明月館に於て發起人會を開催する由

◎富美迺家の三週年祝 旭町富美迺家にては開業三週年を迎へたる記念として二十七日午後一時より自宅に於いて自祝宴を催したり

◎京城青年會總會 二十八日午後七時より同會樓上に於て會員總會あり、會員懇談會半期間事業の會計報告あり引續き理事半數の改選を行ひ山縣五十雄氏、中岡默堂氏（西郷南洲と八百熊）と題する敎談茶菓の饗應あるべし

○西本願寺（若草町）二十八日午後二時より三日數說敎あり

○東本願寺（南山町）二十八日午後七時より法恩講執行

○曹洞宗別院（若草町）二十八日午後七時半より宗祖忌法要及び說敎あり

○延安日蓮宗布教所 黃海道延安郡延安日蓮宗布教所にては去る二十四日午後七時より滿正公例祭執行法要を營み參拜者多數あり盛會なりき

◆鯖めんち 鯖の身を叩いたのをたゝきつぶしてざつとすりそれにせん切り生姜を入れまぜ二錢銅貨位に丸めて油を引きたる鍋にて兩面をいため鍋醤にみりんと醤油とを煮立たる中に入れてつやの出るまで煮つめ皿に盛る

商況

債券現物特電
京 二十四日出來値段（前日との比較）
東京瓦斯電氣 朝鮮銀行 朝鮮瓦電新 南滿洲鐵道 一八二.〇〇

公債直取引
二十四日出來値段（前日との比較）
五分利公債 九九.五〇
甲號五分利 八四.〇〇 / 八三.四〇 / 九九.五〇

深川在米特電
二十七日現在 一四.三八 / 一七.七五 / 一〇.九四 / 一九.五七

東京期米特電
二十七日前場 一月限 七七.八〇 / 七七.八〇 / 七七.七〇 / 七七.四〇

大阪株式特電
株類	拂込	前日	廿五日後場
宇治川水	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸電鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和歌山電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電
二十五日後場
十一月限	一八四.五〇	一八三.九〇
十二月限	一八六.九〇	一八六.三〇
一月限	一八八.七〇	一八八.二〇
二月限	一八八.六〇	一八八.一〇
三月限	一八八.七〇	一八八.〇〇
四月限	一八九.四〇	一八七.七〇

大阪期米特電
二十七日前場 當限 一六.六四 中限 一六.八二 先限 一七.三四 止め

下關期米特電
二十七日前場 當限 中限 先限 寄付 値付 安値 止め [illegible]

雜報

●内地製粉引戻す 小麥の相場[illegible]

●外粉は昂騰止まず [illegible]

●鐵材は不味 [illegible]

●棒鐵類 幾分安模様 [illegible]

●鑵詰筍強硬 鑵詰中筍 斤物は引續き強硬の成行を呈し相場は七圓二十錢と云ふ高値を呼ばれつゝあるが現在の大阪相場七圓より[illegible]

●砂糖更に高し 砂糖は内地高に連れ其後更に氣配を高め昨今せ一の十三圓三十錢を唱へられつゝあるが仁川筋は十三圓五十錢處を主張しつゝありとかにて限先尙强含みなり

●眞綿は上進歩調 需要期に入りしため著しく實需の喚起を見たるも産地原料高と農繁期にて産出を減少せしを以て市場品薄となり居りし眞綿は各品通じて十貫目五圓方上進したるが尙一段躍進すべき形勢なりと

●田作りは行間へ 朝鮮産は漁況惡しからず相場も十二三圓處に生れしか本年は内地非常の不漁なりし爲め益々盛んに移出行はれ其

大人蔘は調を遡るに至るべし

仁川米豆取引所仲買人 まるにち 仲買店 電話[illegible]二八二番 二八三番

下關相場
後州場は移出口の買漁ふりに一時二十二三圓處迄暴騰したるも最近内地筋へも漸く一進行護り多少買氣の薄らぎたる模樣にて市況頭打の觀あり昨今の當地相場は上物十五六圓裾物十圓處の唱へとなれ比し二三圓方の高位なりと

▲朝鮮白米も氣强し 其後二百九十八叺の廻著に過ぎざるのみならず期米高の影響として産地高に連れ各米主の賣り腰强きに依り相變らず人氣强し

▲大豆は手堅し 引續き相當に出廻りあるも依然産地の人氣安からずして不引合を構に各荷主の賣り腰强きに依り其後市況手堅く之れが弗々の

南大門の廻穀
水原玄米 八三叺 / 平安玄米 一〇八叺 / 平安白米 一〇八叺 / 鳥山白米 一三九叺 / 小鳥山玄米 四〇叺 / 水原白米 六〇叺 / 鳥山玄米 六〇叺 / 鳥山白米 二七叺 / 成歡籾 五四叺

京城正米
△沃川大豆 十一圓七十五錢 / △後館大豆 十一圓七十錢 / △宜川大豆 十一圓七十錢 / △鳥致院大豆 十一圓七十五錢 / △元山新干か上品 十一圓二十錢 / △同 商品 三圓八十錢 / △同 下物 三圓五十錢

京釜線方面は引合に連れ弗々商談行はれ一方精白等出回は鈍いて注文入りの銘柄に付ては何れも注文引受け難き有様にて鮮米の高値と時局の船腹不足の頗る高値なるより其賣氣の後を受けて買人は安値を待つのみにて市況は依然として...

大五仲買店
仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三〇九番 長九一二番

▲肥料の現況 魚肥は其後別に氣乘りの買の見られざる爲め別段大した高値にも至らず然れども出廻りも少なく内地筋の高値に其上に押へ居る爲め...

仁川現物市場
瑞興白米 二〇叺 / 金村籾 一九三叺 / 鳥山白米 二九八叺 / 鳥山白米 二五四叺 / 車浦場籾 二二六叺 / 天安籾 一五九叺 / 瑞興胡麻 一七六叺 / 鳥致院籾 一二叺 / 金村籾 一八四叺 / 一八〇叺
島山白米 七七叺 / 金村白米 二〇叺 / 金谷雜穀 二七叺 / 金義白米 二〇叺 / 鎭南浦糯 九四叺 / 餅店籾 八六叺 / 水原糯 七七叺 / 天安白米 二五叺 / 長淵籾 一五九叺 / 安養白米 二〇叺

▲籾入津昨今兩日約五千餘俵氣配は不變らざる裡に多少弱人氣を唱へ居れり

▲正米入津昨今四五百叺氣配は保合の裡に弱人氣を唱へ居れり

▲大豆入津昨今千餘叺氣配は又復强硬となり三十錢高見當を唱へ居れり

釜山穀物市場 廿六日
▲正米（十錢高）同著品は捗々敷これなく賣り物割合稀薄にして本邦正米も好勢なる爲め精米筋は先き高を氣構へ容易に商談に應ぜず又買人の各精米筋も原料の必需に迫まりたる商狀にして高値不引合を唱へながらも相應買ひ氣み人あり餘儀なく買人の呼び値に引付られたる事とて相場は一寸昂上十錢高にして底意手堅き狀態なり

▲大豆 本邦への船腹少なき爲め積出し不可能なれども買注文は弗々ある事とて買人多く氣配强くして五八錢高なり

仁川期米
中玄米 三三七圓 / 玄米 三七四個 / 糯 四五個 / 玄 一四個 / 小豆 三個 / 大豆 三七個

二十七日前場 大阪天候曇
前十一月限 二十六圓八十一錢
天前寄十七圓三十四錢と一昨止より三錢安の入電にて當地常十二圓八十九錢より二錢と押出來不申先十二圓七十六錢

原潮商店
大阪堂島米穀取引所仲買人 多少に不拘御注文奉願上候 電略北 三〇八番 三〇九番 二三一〇番 二三二二番 一三八二番

二十四錢と瓦落 大阪二節寄付七十錢と發表したるが押目は買物多く折柄大阪より四節二十七錢、五節三十錢と跳ね返しを受け、六節三十六錢と高移りを示し保合の裡に終れり

二十七日前場 寄付値は節...

▲依然保合 天候晴天大阪の小甘さ入電に十二圓七十六錢と寄付一歩七錢と緩げたるも後場安を受けて⊖より稍目立ちたる賣物現はれると其他の賣りに四錢と押したる

市場零聞

三巴仲買店
仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話[illegible]

は賣物薄く折柄入の漸騰を受けて金其他の賈物顯はれたる等の賣向ひにて存外伸びず七錢と返して散會を告げたり市況は大阪の不相變に今二十一圓入報あるも存外落付模樣を呈し居るは全く前場末に陷想せたる相場の保合に崩れ投げの顯出せざるに依るならんか

▲前場の手振 商内重なる方寥寥五千餘石⊖四千餘石⊖各千餘石等に對し買方⊖四千餘石⊖各千餘石等にて他は小口商內であつた

仁川米豆取引所 二十七日の一月限
	前場
寄付	十二圓七十六錢
止め	十二圓七十六錢
高値	十二圓七十四錢
安値	十二圓七十七錢
出來高	一萬三千三百石
一節	十二圓七十四錢
二節	十二圓七十五錢
三節	十二圓七十六錢
四節	十二圓七十七錢
五節	十二圓七十七錢

賣買取組高 十一月限 三千六百五十石 十二月限 七百石 一月限 八萬六千六百石

小賣白米 十一月限 一七八 / 十二月 一七八 / 一月限 一七六 / 後場 一七四 前日と比較 一安 一安 二安

青物小賣相場
現金賣 一等白米 十五錢五厘 次 十五錢

コイモ	三〇	ハクサイ	二五
サツマイモ	二〇	ミヅナ	二〇
バレイ	二五	タカナ	二〇
アカメイモ	二五	レンコン	九〇
ナガイモ	二五	ゴボウ	一八
ツクイモ	八〇	ユリネ	五〇
ヤマイモ	二五	クワイ	二〇
ハスイモ	二五	ミツバ	一〇
ホウレンソウ	四〇	カイワリ	二〇
シンギク	二五	ショウガ	五〇
フダンナ	二〇	ネギ	二〇
セリ	二五	カブ	五〇

▲當限不勢 當月限は明後二十九日の前場を以つて納會するか今前場十二圓八十九錢より手仕舞小口小內に八十二錢と押し續ぶる不勢に陷つたる受渡豫想せし如く前報に依然一萬五六千石ならんとの事なるも正米界の情勢は內地の高報に連れて頗る堅しくも商底堅き形勢なるより或は正米筋の渡し米は期米に買退く哉も難計爲に多少の減少を見るならんと觀測せられつゝあり

平 期米賣買 丁田商店
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 電話一五八・一五九 電略（ヒ）又（ハ）（ヒラ）

▲原料米の買入は地相場に引合ふ程度に在るも如何せん船腹不足にて精米所の如き多大の注文を抱き商賣とし注文入り込み來るも殆んど輸送に困難し居れりとの現狀にて自然▲安直待ちさも言ふべくして相當場は保合居れり斯る次第にて目先正米界は一々船繰りの如何に依って活況を見るならんと思ばる船繰りの問題も近く輸送の途開けると云ふ事なるが一日も早くせざれば延て一般經濟界に大影響を及ぼすや難計斯る事情にて▲買方も高直は自然見送りの狀態となり實方のたに現下の事情を斷用し居るの場合一朝船繰の途開けんか形勢の一變を豫期して段りに突込み致もならず旁双方見送り居るより人氣も自然迷ひとなり居る者の如し不如今後の變動や果して如何

▲墨能く賣る 今日共同店より賣りたる玉數五千餘石に上りたりとの事一面千餘石の買ありたるも保合の折柄同注目を惹いたり

▲下の商内 前場同店より賣りたる玉數四千餘石に上りたりとの事にて注目を惹いたり

▲殆んど釘付 此月末に際し玉數四千餘石買たる玉數二千餘石に上りたりとの事にて注目を惹いたり

たる關係なるが前日來大阪の如何にも報ずるあるも存外落付模樣にて小相場を繰り返し居るに過ぎず大阪も近年の高値現出し値の大なる丈け高下も頗て大にして頗々高下の報ならば乘るも上げにも下げにも臨機せず殆んど釘付同様の成行を呈し居れり是れ

▲仕手の關係と時期の問題に外ならずとするも刻下の船繰問題も慥に保合の一因を爲せる者の如し前報せし如く籾の入著は依然として日々多數に上り居るより正米の出廻多く精米として玄米として已に內

演藝案内

浪花館
明治町 電話二六〇
若葉會主催 素人淨瑠璃納會 廿七日廿八日兩日開演
初日（廿七日）語物 △日吉九三段目 △伊賀越六ツ目（豊若）△（梅酒）△おつま八郎兵衛（大さ）△壺坂（千雀）△玉藻前三段目（珠尚）△布引瀧小櫻責（昭盛）大切忠臣藏七段目（總掛合）
木戸無料 午後六時開演

有樂館
本町一丁目 電話二六六
十一月二十七日より三大寫眞提供 [illegible]

黃金館
電話一八五二（階上）二六三七（階下）
十一月二十八日より [illegible] 新派連續劇 佐原喜三郎 全三卷 [illegible] ▲大活劇 絲篇黑い箱 第十四編 [illegible]

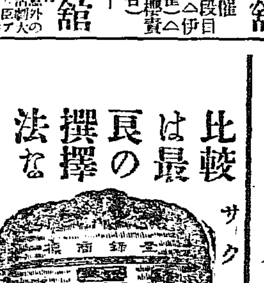
大正館
櫻井町 電話八七三
十一月廿三日より臨時特別大興行 [illegible] 舊劇 木泉吉五郎 全三卷 ○新派 代劇『岩しづみ』全三卷七十八場 [illegible]

御成座
成町 電二一九一
第三十五回 [illegible] 喜劇再會 玉 全八場 全二場 [illegible]

有樂館
今廿七日より 特別大興行（料金普通）
日活會社秘藏の大寫眞
舊劇 白浪五人男 日本左衛門 五卷
大活劇 大臣の奇禍 三卷
新派悲劇 いさみ肌 三卷
封切の新寫眞今朝到著

内科小兒科 多々見醫院 京城日出小學校前 入院隨意 電話九四〇

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗



山邑京城支店 京城明治町二丁目 電話八四一 四五四 九四四番 振替京城五七番

期米 機密通信社仁川支店 仁川米豆取引所前

くすりは山岸 諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械 懇切叮嚀、迅速確實に市内配達及び地方通信販賣致居候 京城本町二丁目郵便局前 山岸天祐堂 藥品部 器械部 電話[illegible]

寶田石油株式會社代理店
帝國麥酒株式會社代理店
大日本鹽業株式會社代理店
再製鹽製造販賣

合名會社 鈴木商店京城出張所 京城本町三丁目 電話長二二九〇番、長二九二四番
釜山出張所 釜山本町二丁目 電話長七六二番
仁川出張所 仁川本町二丁目 電話長八三番、八五六番

原鹽直輸入販賣
阿里山檜材朝鮮一手販賣
雜穀賣買

京城永樂町二丁目（商品陳列舘裏門通） 酒井婦人病院 入院隨意 電話二六〇・〇八番

△次回俳題『火鉢』 △下句付題『酔ふて寝て』

一週間以內に對容發見通告者には五十錢書籍券を呈す（但何書何號と明記に限る）

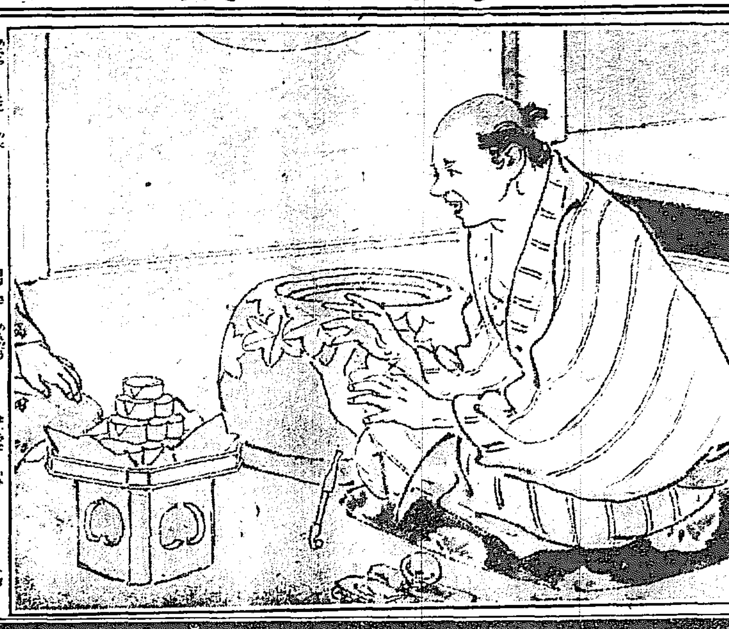
十一月廿六日午後釜山入港對馬丸

宮本武藏

第二百二十八席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

剛毅朴訥は仁に近しとやら、口には惡を有つて居るが竹を割つたやうな男『恐しい泥醉だ、もう酒は廢さう、此方の家の親父は未だ歸らねか ○『今晩は泊りでございませう、明日夕景までには歸るつもりでございます 男『老人のくせに何んだツてそんなに諸所を泊て歩くんだ ○『へエ見廻りをいたしますので 男『何んの見廻りをするんだ ○『へエー 男『もう寢るから床を敷てくんね ○『もう彼方に床は敷てございます 男『然うか』と其の座敷へ來て見ると絹布の夜具蒲團が敷てございます、枕頭には丸行燈に燈火が點て煙草盆などが直つてあります、其處へ入つて彼の男は寢てしまつたが、酒の機嫌かグツスリ寢込んで翌朝目を覺したのが四ツ時分、處へ番頭が出て參り、○『お客樣お目覺でございますか、男『何時だね ○『もう四ツ少々過ぎでございませう 男『大層朝寢をした ○『さアお手水をお遣ひなさいまし』と顏を洗つて來ると直に茶を入れ菓子を添へて其處へ持つて參ります、內に朝飯といふ譯だが結好な膳部に給仕が附いて食事をさせ、暫く經つと店から入つて參つたのが一番々頭の嘉七 嘉『エーお客樣ね 男『何だイ 嘉『只今湊へ米船が三艘入津をいたしましたが、お買なさいますか 男『何に米を買ふのか 嘉『ハイ 男『こんな大きな家で米を小買にするのか、最も小買は爲つけて居るからな、朝起ると家の鴉が米かし桶と錢を持つて米屋へ驅けつけ一杯買て來るのだ、嘉『何程お買なさいますか 男『一杯で澤山だ 嘉『へエー一杯お買なさいますか 男『毎時でも一杯づゝ買うんだ 嘉『左樣なら一杯買ますか 男『一杯を惡けりやア二杯も買うか、エー面倒だ、三杯皆な買てしまへ 嘉『へエ、三杯お買になりますか 男『皆な買うが錢は無いからお前の方で立替て置いてくんねエ 嘉『それは宜しうございます 男『何うせ仕事をすりやア差引て貰うからな 嘉『宜しうございます』と店へ出て行つた、彼是二時ばかり經つと番頭嘉七其處へ出て來、嘉『借お客樣、先程お買なすつたお米、此の邊で手放しませうか 男『買たばかりの米を手放すといふことは無いねもう少しとてねて置いてくんねエ 嘉『左樣でございますか』と立て行つたが暫く經つて復還つて來た、嘉『恰度只今が賣時でございます、お賣りなすつては如何で 男『未だ賣らねエもう些とこてねて置いてくんな 嘉『然うでございますか』と出て行つたが三度目に還つて參り 嘉『如何でございませう最う少したへますか 男『然うよな、此處らあたりが見切り時だ、エー賣つてしまへ 嘉『左樣ならお賣りになりますので 男『然うだ 嘉『宜しうございます』と店へ出て行つたがその夜は寢でしまいましたが、翌朝になると番頭嘉七が三寳の上に小判を山の如くに積んで其處へ持つて參りまして 嘉『イヤお客樣、貴下は豪い、二度程持堪へて三度目にポンと放してしまうなぞはお手際なもので、トン〳〵拍子に旨くいつて三艘の米が三層倍にも儲かりました、是は貴下の儲け金でございますから御受納を願ひます』と聞いて彼の男は吃驚して 男『此の金は何うするのだ 嘉『貴下が儲けたから貴下樣へ差上げますので 男『へエー、三杯買た米がこんなになつたのかね 嘉『左樣でございます 男『俺は又一杯買へと云ふから小桶へ一杯買うのかと思つた 嘉『一杯と申しますと船一艘のことでございます、三艘へ積込んだ米を安い處で持ち堪へ、高い處で賣つたから是だけ儲かりました 男『然うかね、何にしろそいつは旨く行つた』と云つて居る處へ本間久四郎が歸つて參り是を聞いて共に喜びましたが、此の石工が稼業を廢て本間久四郎の世話になり、信州須坂といふ處へ參つて須坂新十郎となつて百五十萬兩の身代を起しました、



暦

十一月廿九日九星 舊十一月五日庚午 赤舌 七赤 酉 危 先負

▲七赤● 浮雲の相談を受けんとす 注意烈しく合南方は吉婚姻西▲八白● 大願成就の日轉居開業入學名弘求職金談婚姻取土工請負等皆吉▲九紫● 意に任せぬ事有る日新事手控へ衣事は吉女子は行儀を守らるべし▲一白● 願望を上る日轉居開業等皆吉 女子は思はぬ良緣を得る等大吉祥の日也▲二黒● 努力精進の日轉居入學行商緣談皆吉殊に合資組合を結ぶに妙也 待人來る▲三碧● 疳癪のおこる事有る日蒔付て新事手控ふべし 緣談は妨なし▲四綠● 不善不惡の日なれども新事控目の方吉 着手は植ゑるは妨なし▲五黄● 順利の日轉居行商造船名弘求職金件婚禮電氣業等萬吉▲六白● 同情多き日轉居旅行入門名弘金件求職婚禮女子の物の指南を始むる等萬吉

衣服布團を汚さず
至極衛生的で經濟なる
カワ井イ 實用新案
赤さんのためにこれからは
オシメ止が
一番御宜しう御座います
大六十錢 小五十錢 送費十二錢
ネル製
朝鮮代理店
中西醫科器械店雜貨部
京城朝鮮ホテル前 電二八一四番 振二六二六番

月やく
なきに御困りの方は郵券三錢封入左に御照會あれば妙藥しらす
京城黄金町三丁目新道角 山田志づゑ

りん病
消渇で困る方多年の慢性も
自宅にて人知れず安全秘密に治癒す良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其良藥と自宅療法の詳細を報ゆ
名古屋市南かじや町 武藤亀吉

男女子用 サック
最上ゴム製極薄且丈夫上等
十個四十錢 廿個七十錢 持製十個六十錢 廿個一圓十錢
珍形一個三十錢 二個五十錢 一〇個一圓七十錢
送料各廿錢 二〇圓以上一割引
郵券代用一割引
東京芝區愛宕町二 諸丁子堂 振替東京一八一五八

山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ
價十五錢 郵税二錢
京城太平通 電話三〇〇番 京城日報社代理部

長壽 醫品は
ヨーグルト
滋養・健康の母は
荒井の牛乳
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番

初冬の素肌の美を增し薄紅ご自然の色艶麗き
美人となる!
冬の家庭お化粧料
再三宮內省お買上を賜ひ
衛生博に於て名譽賞牌を受く
光榮
ホーカー液
―ホーカー液の三大特長―
使へば使ふ程皮膚の色艶を美しくし
(燈光彩といふ學理上の作用でお化粧に一番恐しい)冬の肌アレを完全に防ぎ
お化粧下、白粉のトキ水に使用して白粉の塗榮を艶麗にする
本品は東京、大阪を始め全國都市の貴婦人紳士方の御愛用益盛でムい升
近時種々の類似品あり、お求めの節は特に『東京堀越嘉太郎製劑』に御注意を乞ふ
朝 夕
お顏をお洗になつた後
お湯にお召になつた後
お化粧の時には白粉下の代りにお使ひ下されば、白粉のノリもノビも自由でその白さが殆ど生れつきの様な艶麗きになります、又紳士方はお髯をお剃りになつた後でお使ひ下されば剃刀マケを防ぎます
空青々と澄渡り冷たさ一入身に染むこれから肌の手入の大切な季節でムいます
定價
徳用瓶 八十錢
中瓶 四十錢
小瓶 二十錢
送料
內地 當店持ち
滿鮮 三十錢
姉妹化粧料
發賣以來、ホーカー液と並んで評判最もよき
新美容料配劑の濃化粧料
(塗けて自然の美しさを現はし、化粧榮のする品)
ホーカー白粉
本舗の獨特の美容劑を多量に含んでゐて、塗く力强く、何方の肌にも適りと合つて、お化粧崩れもせず、ノリノビ思ひの儘の美しいお化粧が出來ます
定價、化粧箱入一瓶金二十五錢、送料當店持ち滿鮮三十錢
手近の店に品切の節は直接切手代用又は振替にて御注文願上候
ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美顏水 ホーカー井戸
本舖 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 振替東京一五六

寒いです
けれども御安心です本品御常用が咽喉腸胃を整へると天下御定評の通りですから、
森永 ミルク キャラメル
煙草代用
當會社特設の化學試驗部に於ては藥學博士丹波敬三氏藥學博士岡田春吉氏兩顧問の選定せられたる專任技師數名顧問指導の下に日日使用する原料を檢定して品質の統一を期す
5―28
森永製菓株式會社

第三版
廿八日朝刊（夕刊と合せて八頁）
本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　與田直哉
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
電話　[illegible]

▲二十七日後場▲兵庫後場十六圓九十六錢東京十七圓八十八錢大阪前止十七圓三十八錢[illegible]
▲更に[illegible]
▲後場の手振[illegible]
▲現物界[illegible]

支那の政爭

京城日報

支那の政局は、日來不安定を見ゆると云ふと雖も、其政治界の紛紜は今猶ほ依然たり、今日の支那は之を內にしては深憂大患の存するにあらず、之を外にして關係列國民皆深く其同情を寄せて、新政體の確實に成立することを望まざるものなし、然れども支那人自身、牛刪李黨相爭うて已まずむば、遂に自ら不測の變患を招致するとなきを保せず。

今日支那の政治的勢力を尋繹するもの、先づ南北の對峙を說き、武人派文官派を相分ち、若くは官僚民黨の區別を說ずるかことくなれども其爭點は主義政策又は國民的利害問題にあらずして、只各自其地位を占め職業を得むとするに外ならず、政治上より云はゞ一閑職に過ぎざる副總統の地位に就てすら、此度のごとき大紛擾を釀せり、一大小官吏の地位は、皆是れ朋黨爭奪の物たらざるはなきなり、官吏を以て人世唯一の目的と爲す所の支那人には、強ち無理ならざるべしと雖も、折角立憲政治を創設せむとする大切なる場合に及びて、斯る爭鬪に是れ耽るは甚だしき心得違ひならずや、最近段總理と孫內務總長との間に軋轢を生じ、既に孫氏の罷免を見るに至れり、是れ亦段孫兩氏間の政治上の爭にはあらずして、畢竟兩氏の末流雜輩の地位官職の爭奪戰なり、現に其爭鬪の急先鋒は、秘書官以下の小役人なりと云ふより推すも、其事體を知り難からず。

併ながら今日の支那は、決して斯る朋黨の爭に日を送るべきの時にあらざるなり支那のごとき、古大國に於て、新たに政體を確立すといふことは、自ら是れ曠古の大業なり、擧國一致して其事に當り、不世出の大材ありて其を統總し、施置して初めて其の功を空くせざるを得べく、夙夜黽勉其事に從ふも、猶ほ且之を失ふあるを思はざるべからず、然るに新政權造を奇貨と爲し、此に各自の威福を張るに汲々たるがごときは誤れるの甚だしきものなり、且今日支那が無事なるを得るは、關係列國民皆其同情を寄せて、其成功を望むに是れ由らざるべからずして、支那政府の最も力むべきは外交上の事にあり、然るに今乃ち政府部內政爭紛々たるの故を以て、其關係列國との交涉を高閣に束ねて之を顧みず、日支案件其他の交涉問題一も進捗せず、偶ま措置の交涉を試むるも是亦黨爭の犧牲たらざるは亦し、此の如きは支那政府永く列國民の同情を繫ぐ所以にあらず、特に其外國資金を借るゝことは彼に取りては焦眉の急務なりと稱するも、列國民の同情去り信用失墜せば、其所謂焦眉の急務なるものも、亦之を全くするに由なかるべきなり。

大正の青年と帝國の前途

＝蘇峰先生の近著を讀む＝(三)

中島生

回を重ねる百六十、字を聯ねる二十餘萬。『大正の青年と帝國の前途』は、蘇峰先生近來の著作中、最長篇と稱す可し。其の觀察の方面の多端にして、其範圍の廣大なる、著者は尙ほ其所說の精細詳審を缺くを遺憾とせり。若し著者をして、敢て簡約主義を執らざらしめば、六百八十頁の本書十卷の分量を以てするも、尙ほ詳審を得たりと謂ふ能はざるべきか。思ふに蘇峰先生の志や、書物製造に於て在らず、唯だ唯だ文章報國に在りて在するならむ。是れ記者の忖度なり。而して著者が自ら稱して、詳審を得ずと謂ふも、吾人の見る所は、本書一卷、詳細審密、遺憾とする所、之れ無き也。

蘇峰先生の青年論は、今日が始めてにあらず。今より三十年前に於て、既に之を做せり。著者は本書の序文に於て云く。

『本書は實に、明治十九年の秋出版したる『將來之日本』、及び十八年の夏著述し、二十年の春、出版したる『新日本之靑年』を、根本的に改作したるもの也』と。

『將來之日本』並に『新日本之靑年』の兩書と『大正の青年と帝國の前途』とを對照する時は、前兩書に於ては第十九世紀の大勢を說き、平民主義を鼓吹す。後書に於ては、帝國主義の趨向を說き、平民主義、國民主義、國家社會主義を貫串したる皇室中心主義を鼓吹す、前二書に於ては、專制を斥け、自由平等を說き、平和主義を唱ふ。後書に於ては、國際競爭の大勢を說き、帝國主義を高調して亞細亞モンロー主義を唱道す。而して著者の云ふ如く、著者が、前兩書の出版以來、之を訂正するの必要を感じたる一再ならず。特に明治二十七八年役前後に於て、著者の政治上、社會上に於ける意見が多大の變化－進化を來たし、切に其必要を感じて、到底文字、章句の小修繕にて滿足し能はず、其の基礎石までをも取り除き、更に新たなる地盤の上に、建築せざる可らざるの大工事に著手し、以て本書を大成せんとするの目的は、抑も那邊に在りや、是れ本書に接する者の、必ず先づ知るを要する所なり。著者をして說明せしめよ

『人或は本書が、專ら重きを國家的統制に措て、個人的自由を閑却し國民的活動を主として、獨自一己的行爲を無視するを病めりとする者あり。されど是れ未だ記者の眞意を會得せざる也。記者は國家を大ならしめんが爲めに、個人を小ならしめよと云はず。所謂る英國の自由說に就ては、記者の少壯時代より、爛熟したる所にして、記者は今尙ほ英國功利派、若くは哲學的急進派マンチエスター派等の諸著を愛讀しつゝある也。記者は決して此方面を無視して單に軍國主義に熱中する者にあらず。議論としては寔に面白く、且つ一片の眞理は、依然彼等の所說に存するを議認するに遲疑せざるも。然も我が大日本帝國の國際政局に於ける立場を考へ、我が大和民族の坤輿に於ける大使命を慮かる時には、徒らに個人的自由說、隨意的行動說、主我的中心說を以て、當今の急務なりと臆斷する能はざるものある也。記者は畢竟兩端を叩き、其の時務に切要なる方面に向て、極力其言を立てたる也。大綱既に定まれば、細目は必ずしも齷齪たるを要せざる也。但だ今日の要は、未だ此の國家的大綱の確定せざるにあり。或は確定したりと云ふ可きも、未だ十二分に徹底せざるにあり。而して此を徹底せしむるは、是れ本書著述の主なる目的の一と爲す。』

卽ち蘇峰先生の『大正の青年と帝國の前途』を著述するに方り如何に深遠大の抱負を以てせるかは、本文の讀者の當に解し得る所なるべし。其著者の筆を執つて紙に莅むの時、其の熱烈なる國家的精神は、奕々として筆端に燃ゆるが如く、文字光彩を發ちて紙上に躍動するの慨あるを想はしむ。著者が擱筆に際して言ふ所奈何『記者は此に至りて二十年來の重荷を、一朝にして拋却したるが如く胸中無限の慰安を覺ゆざらむとするも能はず。』又曰く『予は唯だ現在に於て、二十年間胸中に蟠屈したる、或物を吐露したるが爲めに、心氣轉た灑然たるを覺ゆるのみ』と。本書は實に尋常一樣勞力の產物に非ず。長き歲月の間鬱屈せし精神が、最も強大なる『力』により、一氣に壓搾されて生せる、偉大なる結晶物たる也

露國の金吸收策

露國財政商工時報抄譯

四、露國に於て採掘する金を國庫に徵收する方法（承前）

本年一月以降政府の勵行せる外國爲替取引調節法は外國爲替市場に於て投機的賣買を行はしめざる上に於て好果を得たる方法にして此金自由賣買禁止は兌換基金增加の爲め國庫に金を集中する上に於て有功にして殊に金鑛業界に行はるゝ投機的取引を防ぐを以て兩施設合せて終局迄勵行せざるべからず

五、民間流通金貨回收策

民間の金貨約二億留乃至二億五十萬留を回收する爲今日迄に採用せる法定平價を以てする交換奬勵法國驟院の愛國心衝動法及帝國銀行に於ける外國通貨との交換法等は忌憚なく評はゞ一も大なる效果を奏することは能はざりき蓋し人民は金貨を保存し兌換復活に至る迄には或は金貨に對する打步が多少有利に確定すべきを期待するや明かなる事實にして之を外國通貨と交換する法が奏效せざりし理由は外國通貨の必要なき一般人民に取りては交換手續の煩累なる容易に近くべからず終に此方法は一般に廣く了解せられざりしにも因るべし二億留乃至二億五千留の民間金貨を悉く回收せんとせば之を紙幣と交換するに當り人民に取り最も簡單に應じ易き方法を選み公平なる價格を以てせざるべからざるは勿論にして其一方法としては特に小額面の金貨證券を發行するか或は過般飯氏及び家族救恤、食基金增加の爲行ひて成功せる富籤の例に倣ひ小額の年金債劵又は富籤を賣出すべし斯種の金貨債劵又は富籤にして人民に取り有利なる條件を附すれば廣く一般民を誘起し其所有の金貨を國庫に提出せしむることを得べきや必せり民間より金貨を回收する他の一方法は各所の支金庫に於て金塊及び貨錠を四割五分の打步附にて收納したると同じき手續を以てするを良策とすれども金貨は金塊の如き純分試驗手數及び費用を要せず計算法も簡單なるを五割の打步附にて收納すべし斯くる時は此五割の打步附價格は法定價を以て金貨を外國通貨と交換する時其爲替相場より二分の手數料を差引きたるもの略ぼ近き價格となるべし此方法は金貨に對する打步附加法の當を得たるものと謂ふべく其實質に於ては政府の外國爲替取引調節法規定後紙幣に對する交換の率を一定して外國通貨と金貨との交換を行ふの法と大差なきものなり而かも直接外國通貨と金貨とを交換するより手數單純にして普通人民には了解し易し國家の財力を增大する爲め非常手段として時期を限りて此方法を實行し廣く民間に周知せしむる時は我國兌換基金を增加せしむる上に於ても著大なる效果を奏すや必然の事なりとす之と同時に此方法は前に詳述したる一種の投機者又は金細工商によりて行はれたる金貨密賣の販路を根絕することを得べし獨佛の例に倣ひ法律上の制裁を插して金貨を以てする一切の取引を禁ずる特令を發し人民をして速かに國庫に金貨を納入せしめ其法定平價以上の公平なる代價を受けしむるが如く獎勵するも亦金貨回收上頗る有力なる手段たるべし

要するに前記の諸手段を以てせば我國に於て採掘せらるゝ金並に民間に存在する金及び金貨の總額金三億留乃至三億五千萬留を悉く國庫に吸收して我國兌換基金の增加に資する上に實質上の影響を及ぼすことを得べし勿論前記の諸手段は餘りに過激に見ゆるも現今に於ける歐洲交戰國の財政は緊張の極に達し居るを以て從つて特別なる非常手段を執らざるべからず其手段の一として我帝國銀行の正貨準備を前記の額丈增加するも亦頗る價値あるものなりとす故に民間に存在する金及び金貨を其徒に改造せられ又は外國へ密輸出せらるゝを待たず須らく前記の諸手段を斷行して極力之が徵收を計らざるべからず（終）

蒲團

五の日十の日會吟

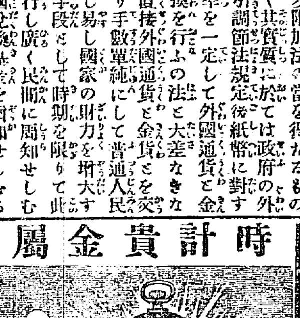
芳草樓

○蒲團干したる壁白の矮う　拔柳
○訪ふ日の危ふみの蒲團はなると　○鳥堂
行李にさはる後に追り數く蒲團

右豫松拾材外拾武貼[illegible]詳細ハ十一月廿八日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ本府ノ揭示ヲ見ヨ
朝鮮總督府

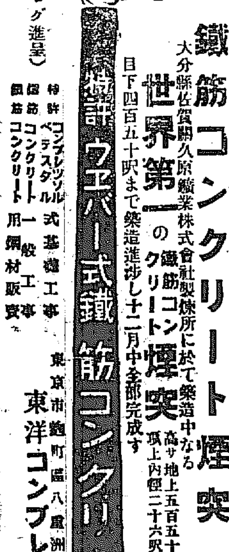
物品拂下
一、古金物　六點
一、古枕木　二點
一、雜品類及木屑　八點
以上當局龍山倉庫拾渡
右來ル十二月十五日競爭入札ニ依リ賣却ス詳細ハ十一月二十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルベシ
大正五年十一月廿五日
朝鮮總督府鐵道局

御待兼ねの佛國式
珍品洋生賣出しさ
クリスマスケーキ
進物用一打半打箱入あり
京城本町一丁目
いろは菓子舖
（電話一四四六番）

時計貴金屬指輪商
地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目　京城銀行前
三浦天龍堂
電話一二〇〇番　振替京城三〇四番

賜天覽台覽

福田眉仙畫伯著　久保天隨先生解說
支那大觀
十二大家序文　伊東忠太先生　市村瓚次郎先生　鳥居龍藏先生　德富蘇峰先生　塚本靖先生　內藤湖南先生　矢野龍溪先生　山路愛山先生　松本亦太郎先生　幸田露伴先生　笹川臨風先生　志賀重昂先生
秦漢三國の英雄が龍驤虎嘯したる長江巴蜀は灘瀨峯巒を連續して造化の奇工を極盡し形勝と史蹟と傳說とを併有して雄大奇峭世界に冠絕す我が眉仙先生畫筆を載せて此の險山危水を北轅南舵する三年一萬五千華里の遠きに達し其到る處に隨觀隨描したるスケッチは南畫の精髓にして古今を曠ふするの一大山水畫卷之を展舒する時は身親から雲山凜たる萬里の旅を行くが如く又恰も無聲の英雄長詩を讀むが如く將又東亞の歷史、地理、文化史上の實物指教に接するの感あり若し夫れ裝潢の絢爛、搨刷の精美に到つては現代技術の最極を盡くしたるもの之を架上に置く時は滿室詩趣畫趣に充ちて轉た塵寰を脫するの思あるべき也
正價金拾五圓
第一版一千部限
特價金十二圓
送料　市內無料　地方金五拾四錢　滿鮮臺樺及支那金七拾錢
內容見本要郵劵十錢
東京市內は御一報次第現品早速御覽に供すべく候
橫卷　揚子江の卷黃河の卷全二卷帙入
裝潢　キヤラバン駱駝隊旅行模様函入
表紙　木版四十遍摺蜀棧道圖二卷題簽
見返し　三色摺黃河揚子江流域分間繪圖
木版極彩色　畫四十二葉琥珀版色摺百六十葉
著者記行　凸版色摺一百圓入八十頁
發行元（電話浪花二二七三　振替東京三八一七）金尾文淵堂
東京市京橋區平河町五丁目五番地
發賣元（電話京橋二一七四九　振替二三五五七）目黑分店
東京市京橋區南傳馬町一丁目一番地

特許ウエバー式（テーパー型）外觀壯美、施工迅速、堅牢無比、工費低廉高價なる鐵製に勝る
鐵筋コンクリート煙突
大分縣佐賀關久原鑛業株式會社製煉所に於て築造中なる
世界第一の鐵筋コンクリート煙突　高サ地上五百五十呎、底部九十五呎　頂上內徑二十六呎三吋
目下四百五十呎まで築造進捗し十二月中全部完成す


特許ウエバー式基礎工事
ペデスタル式基礎工事
特許コンクリート一般工事
總括コンクリート用鋼材販賣
東京市麴町區八重洲町一丁目一番地
東洋コンプレッソル株式會社
電話本局二八〇番
（カタログ進呈）

十二月一日より（階上に於て）
新柄半襟陳列會
東都最新流行の新柄澤山取揃へ御覽に供し候間御用命の程奉希上候
京城本町
三越呉服店

手紙上手は一生の徳
監督大町桂月先生
顧問巖谷小波先生
完備せる『手紙講義錄』に依りて速成的に手紙上手ならしむ會員の手紙を無料添削あり。
六ヶ月卒業◎入會好機◎見本附會則申込次第送呈◎會費一ヶ月卅五錢全納一圓八十錢
東京牛込區馬場下町高田馬場
手紙研究會
振替東京二八八六六番

佛紙日本を稱揚す

本野外相より佛首相に宛てたる電報に對し

ル、タン新聞は日本外相本野子より佛國首相ブリアン氏に宛て佛軍に對し重ねて最も敦厚なる感情を聲明し且保障すとの電報を評し下の如く說けり『本野子は曩に巴里に赴任する前巴里に於て既に日露兩國の調和政策を確定する抱懷を表明したり此兩國の攻策は爾後發展して確實なる同盟となり曩日の敵をして親善の友とならしめたり日本は膠州及び太平洋に於て其の陸海軍の價値を表明したる後日本を擧げて軍需品の一大製造工場と化せしめ現在露國に向け巨額の兵器彈藥を供給しつゝあり尙日本は聯合國の一切の決定的行爲に參加したり即ち千九百十四年九月五日の倫敦宣言及び白耳義塞耳維に關する宣言に加はり自國の運命利益と協商國の運命利益とを一致せしむる諸會議に參列したり而して從來の日本皇帝陛下の御約束は總て實行せられたり本野子の外務省に在るは之等の約束が將來其實行せらるべき充分の保障たるべし云々』(巴里電報)

蒙匪根本的討伐

趙征蒙司令官は二十七日其の主力部隊を率ゐて進發せり蒙匪軍は風說程優勢ならざるも今回は黑、吉、奉三省聯合して根本的に剿滅せん計畫なりと(奉天特電)

羅軍頑强に抵抗す

二十五日發表の獨逸公報に曰く、アルト河下流に於ける羅馬尼軍の抵抗は擊破され我軍は同處に於てアルト河を渡り尙本隊との聯絡を絕たれたる羅軍數個大隊はタルヌセベリンの東北に於て頑强に抵抗しつゝあり墺獨軍はダニユーブ河を渡れる後羅國領土內に地歩を獲得せり(倫敦電報)

ス氏失脚の因

式部長官に任命せられたる前首相スチユールメル氏の失脚は獨墺に對し單獨媾和を試みんとせると食糧問題失敗の爲なりと傳へらる(紐育電報)

立儲禮御饗宴

既電の如く 天皇皇后兩陛下には立儲禮の規定に基き二十七日正午各皇族方を始め奉り外國使臣及び大勳位以下勅任待遇等一千二百餘名を宮中豐明殿に召させ給ひ立太子式御饗宴を催ふさせられたり尙ほ二十八日正午に伯子男爵及び宮內奏任官五百餘名に賜饌の御沙汰あらせらるゝ由(東京特電)

日露協會總會

日露協會總會は十二月五日開會に決せり當日は會長 寺內首相の出席ある筈(東京電報)

總督桃山參拜

來月二日東京出發赴任の途に就く長谷川朝鮮總督は途中京都に下車し桃山御陵に參拜すべしと(東京電報)

百萬圓寄附者

國見氏の死後

事業に就きても後繼者に對しそれ〳〵自己の意衷を吐露し又一家の財政、老親の孝養子女の教育及び親戚故[illegible]
字一郎氏を中心として國見同族株式會社を設立し亞鉛鑛業會社桁監時代より罷身同心の同勞者たる橋本千之[illegible]
厚誼あるを以て同社の相談役たる由 故國見氏は臨終數日前右の木村橋[illegible]
は自己の遺產を保全する點に於ても『進まざれば必らず退く』てふ積極[illegible]
言を俟ず仍て今回前記の會社を設立する事に決定したるなり
原其他の親戚故舊を合せ資本金百萬圓とし取締役は木村(專務)橋本岩橋[illegible]

生牛二回移出

北鮮生牛敦賀移出は十二月中旬第二回の輸送を爲す筈なり(淸津特電)

甲山鑛山溶銅

甲山鑛山は十二月一日より溶鑛爐に點火すべく一日の原銅製產額二萬貫の豫定にて使用石炭は一日四千貫を要し昨今城津より運送中なり尙原銅は城津より輸送せらるべし(淸津特電)

機業界の昨今

內地にては昨今冬物を了りて夏物の季節に入れるも朝鮮の機織界は尙ほ冬物の最盛期なり、而して其の主たるものは綿織物にて鼠無地物大多數を占め居れるが本年は糸價暴騰の爲め各地の機業家とも多少手控への氣味あり、然れども豐作に伴ふ購買力の增進は前途有望の模樣にて現に昨今に在りても之れが問屋相場は平均一圓二三十錢を唱へ上物の如きは一圓四五十錢以上に達せるに拘らず相當の注文あり鮮內の機業界は遠からず殷賑を見る可しと觀測せらる

國境生牛輸出活況

十月中國境より對岸露領へ輸出生牛は龍洞、新阿山、慶興、土里、四箇所より輸出せるものゝみにても一千六十七頭其價格四萬六千百七十圓に達するの盛況にて之を各輸出地に見るに新阿山五百十五頭龍洞三百三十六頭土里八十二頭慶興三十四頭にして中にも新阿山の如き一日百頭を輸出せるの活況なりし之れ需要地の價格騰貴を示し好氣配なると一方農閑期に入り飼料缺乏の時期に入るより農民の飼畜牛を放賣するもの多き結果以上の如き活況を見たるものゝ如し(淸津)

江原養蠶成績

大正五年度江原養蠶總戶數は春夏秋を通じ二萬九千四百六十七戶にして之れが掃立總數は實に三萬六千八百四十四枚に達す今之を前年度に對照する時は飼養戶數六千六百五十八戶掃立數八千五百五十七枚の激增を呈したるが其の收繭の狀況は各期共に氣候の經調と降雨頻繁なりし爲め聊か悲觀の模樣なりしが結果は差したる損害なく全般に亙り相當の成績を收め總收繭七千百十五石に達す之を前年度の總產額に比して超越すること實に一千三百七十二石を示す而して本道は能く實力の伸張に努力したる結果在來種の如きも前年度に於て全く飼育者の根底を絕ちたるが故に內地種の掃立數著しく向上し各期を通じ六千三百十三枚に達したり尙ほ三期に於ける蠶種の供給數は配付一萬四百二十八枚共同購入二萬五千百八十五枚にして外に千二百四十枚を養蠶者直購入をなしたる狀況なるが近時糸價の昇騰に伴ひ斯業の發達著しく現れ居るを以て收繭の販賣は絕對に組合共同販賣に附し屑繭のみを自家用に充て一面製絲普及策として之れが傳習を圖りつゝあるが現在春川傳習所の成績を調査するに概して進步の狀態なるを以て尙ほ一層獎勵に努力すべしと(春川)

豆滿江の鮭漁

豆滿江本年の鮭漁業は八月中旬より開始され十月下旬を以て終了せるが鮭漁業內鮮人百九十一人漁船二十六隻漁網二十五統にして總漁獲高六千三百六十二尾價額一千五百九十圓に過ぎず例年に比し漁獲少く一般に不漁なりし之が原因は昨年及び一昨年洪水の影響にして左記大正五年度の漁獲高に見るも明かなり(淸津)

大正元年 二九、九六九尾 大正二年 二三、七一四 大正三年 二一、五三三 大正四年 一、四九一 大正五年 六、三六二

朝鮮工業界の進展

當局の補助獎勵と產額の遞增

▲朝鮮工業の改良發達を促進せんが爲め總督府にては從來各道に於て經營せらるゝ諸種の工業傳習事業又は有望なる工業に對し或は金品を交付して經濟上の援助を與へ或は專門家を派して技術の指導に當らしむる等鋭意補助獎勵に努め居れるが昨年度に於ても亦た此の方針を以て總額一萬八千三百九十六圓の國庫補助金を各道に配付し、各道をして管下の實況に應じ夫れ〳〵適當なる施設を爲さしむると共に一面に於ては工業に關する諸種の調查、試驗及び分析を施行し

▲其の結果を公表して一般の參考に供する等大に斯業の發展に資せり、今同年度に於ける補助金額を各道別及び事業別に示せば左の如し

道別	補助金	事業別
京畿道	二、五〇〇圓	機業、窯業、製紙業、鐵工業、杞柳竹細工業
忠北道	六〇〇	製紙業
忠南道	二、四四六	苧布改良事業
全北道	八〇〇	窯業、製紙業、漆器業、石鹼業
全南道	一、五〇〇	機業、製紙業、窯業、木竹石器業
慶北道	二、〇〇〇	機業、製糸業
慶南道	一、七〇〇	貝細工業、機業、製紙業、木工業
黃海道	八〇〇	機業、窯業、製紙業、製鹽業
平南道	二、二〇〇	機業、窯業
平北道	二、〇〇〇	機業、木工業
江原道	一、一五〇	窯業
咸南道	五〇〇	機業
咸北道	一、二〇〇	麻布改良事業

▲補助獎勵の結果 は漸次民衆の自覺を促し斯業の改良、技術の改善年と共に普及し朝鮮人家內工業の舊套を脫して稍々設備ある工場を組織し以て諸種の事業を經營、或は副業として各種工業品の生產に從事する者益々多きを致すのみならず一方に於ては各種產業の發達交通運輸機關の整備に伴ひ經驗資力に富む內地人の移住年を追ふて增加し、進むで工業を企畫し、工場を新設する者相踵ぎ現に大正四年に於て新設せられたる工場に就て見るも職工五名以上を有するもの又は

▲動力汽罐を設備 するもの若くは一箇年の生產品價五千圓以上に亙るものを數ふれば染織業三、製紙業一、製革業一、製靴業三、窯業七、金屬工業二、製材業一、釀造業二、製鹽業一、精穀業二六、罐詰製造業一、印刷業二、精煉業八其の他三、計六十二を示す狀況にして從つて工業品產額の如きも逐年著しき增加を示し朝鮮に於ける

▲斯業の發展矚目に値 するものあり、卽ち明治四十四年に在りては工產總額一千六百三十五萬五千餘圓なりしもの大正元年には一千九百四十萬三千餘圓となり大正三年には更に激增して二千七百九十餘萬圓、大正四年には二千九百六十二萬二千餘圓と激增せるは朝鮮工業界の爲め洵に欣ぶべし

隱元益々奔騰

北鮮貿易界の活況

近來淸津港の新輸移出品として貿易界に活況を來しつゝある隱元豆は昨秋までは何等世人の注目を惹かず只僅に鮮婦人等に依りて其小量を市場に出されあり隨て其價格も

▲一升六錢內外 に過ぎざりしが昨秋內地市場に於ける北海道產の高價を唱へつゝあるを傳聞せる淸津の一貿易商は奧地に人を派し之を買收して移出せる結果倍額以上の利益を得たるより各商競うて此が買集に奔走せし結果價格も益々騰貴するに至りしが昨年は其生產物も多からざりしより忽ち品拂底となりしが本年は農民の之が栽培有利なるを知れると當局官憲に於ても之が栽培を獎勵せし結果此播種反別を增加せし從て其生產量も著しく增加し既に九月頃より弗々出廻りありしが內地における該品は本年北海道產の不作なりしため

▲價格益々昂騰 の有樣なるより貿易商は又も之が買集に狂奔し之が生產地たる豆滿江沿岸の鮮內地及間島揮春等には到る所激烈なる買集行はれ中には價格の高騰より從前の賣買契約破棄を爲すものさへあり一方價格は天井知らずの奔騰を爲し當市場に於ける十月中の價格に見るも上旬十九圓中旬二十五圓下旬三十三圓にして從つて內地神阪相場も上旬二十四圓中旬二十九圓下旬三十六圓を唱へたり而して本年一月以來本月十三日迄の淸津港輸移出額は三千五百七十七石價格六萬四千二百五十二圓を算し殊に本月の如きは最盛期とて一日より十三日迄の輸移出額一千十九石五斗價格二萬四千八百四十八圓に達せり尙ほ本品は內地より更に米國に輸出さるゝものゝ如きも其需要先に於ける用途に對しては所說區々にして的確なる所を知らず從つて現在將來に於ける內地市場との取引が一切見當立たず貿易商は只管買集と同時に出荷を取急ぎつゝあり(淸津)

歸休憲兵歸還

來る十一月三十日を以て滿期となる可き駐鮮憲兵歸休兵は十二月初めより漸次內地に歸還す可く之れが補充憲兵約三百名は來る十二月九日釜山上陸交替す可しと因みに右補充兵は內地に於て三箇月間教習せられたるものなりと

養成憲兵配屬

本年八月以來各憲兵隊に於て教育中なりし憲兵上等兵五十名は今回全部の卒業を爲したるを以て來る十二月中採用し各隊に配屬すべしと

仁川鮮人釀酒增加

仁川府に於ける鮮人酒釀造業者は昨年の調査に依れば三百十八人の多數に上りたるが是等は何れも二石三石の釀造にして景氣の如何に依り朝起暮倒の狀態なれば其の規模の小なる基礎の不確實なる殆んど論ずるに足る者無かりしが本年は此等多數の釀酒家中二人三人合同の上釀造をする者多く人頭に於て百名內外に激減したるも最近調查に係る酒釀造高は千六百石に達し尙增石の模樣なり而して從來同業者は猛烈なる競爭を試みたる結果濫賣をなし反つて自滅を招ぎたる者多きと一般鮮人にして內地酒を嗜好する傾向を呈し料理屋中流階級內地人化したる勞働者等の內地酒を賞翫するより增加し來れる爲め鮮人釀酒業者は何れも警戒し無謀の競爭を試みる者無く一般に健實になりたる由(仁川)

田崎師團副官著任

第十九師團副官竹內中佐後任の前步兵第七十七聯隊大隊長步兵少佐田崎孝三郎氏は廿六日著任廿七日各官衙に著任挨拶を爲したり

古海總長記者招宴

古海警務總長は廿八日午後六時より千代本に於て在京城新聞記者團を招宴する由

最近木浦戶口

十月末の當警察の調査に依れば戶口數は內地人一千百八十戶男二千三百七十七名女二千二百八十六名計四千五百九十六名鮮人一千八百六十四戶男四千二百八十六名女三千六百八十一名計七千九百六十七名淸國人二十三戶男六十五名女五名計七十名歐米人五戶男八名女十一名計十九名なりと

▲長谷川義雄氏(京城日報社長) 廿七日夜退京
▲宮崎洗馬氏(工學士) 同上
▲大須瀧藏氏(滿鐵社員) 同上

露領行記

(第廿八信) 琴花

□商業道德

○輸送力不足の情態眞に諒察すべく財政豐かならず、經濟上の不利甚だしき央に在りて百方其善を盡すに努力しつゝある露國の苦衷の認むべきは輸送難の稍下に略述せるが如し、左らば此準同盟國の時局に對して我が商業道德の發露果して如何。

○我が對露貿易を戰前戰後に別ちて見る時は、其激增の顯著なる比較を示し、大正二年の輸出總額一千萬圓に達せざりしもの、本年の輸出は既に一億二千萬圓に及べりと云へば、我の益する所大にして彼の負ふ所も亦少しと謂ふべからず、就中兵器の供給は勿論銅、羅紗及セルヂス、軍靴等の軍需品を中心として露國の我に仰げる便宜は蓋し親善の誼を表示するに足れりと雖も、一般商人に依りて行はるゝ貿易品の聲價を一顧する時誰か憮然たらざらむ、既往を[illegible]めて其非行を列擧するの益なきも、敷島の大和櫻の色褪せて士魂商才今何處にかある。

○我等は僥倖にして未だ世間傳ふるところの當店は日本商品を取扱はずの標榜して信用ある店舖の左券となせる如きものを實見せざれども、日本商人は詐欺師なりとの酷評は兩三所に於て之を受けぬ、無邪氣にして怨を銜せざる露人なればこそ、米國品は價も不廉ならず小ざつぱりせし所宜しく、日本品は高くて惡く、矢張我等は獨逸品が好きなりなど露骨に彼を擧げて我を罵る位にとゞむれど、主客顚倒して我が困難に際し、彼の商人が我が商人の筆法を以て臨まば我は之を何とか評せんとする、戰爭久しきに亙らば相當我が商品を使用する習慣附くべしと恃む如き妄想に終るなくんば優曇華の仕合也。

○然ればこそ地の利取引の便否に拘らず、軍需品すら其十中の七八は之を米國に求め、一般商品の供給も亦た我に遜色あり、生產力の貧富に因すとする我が商賈たるもの當に其本に歸らざるべからず、蓋し日本商人の通弊として他を傷くるも已れ利せんとし、永遠の計よりは近慾に走り、同胞の間にすら忽ち仇讐の狀を爲す、夫の武士の義を重んじて節を貴ぶ國風に比して全く別人種の觀あり、かゝるは實に淺猿しき焦芽敗種の徒にして、所謂疥癬の蟲となるも蝕齧の身となる勿れと戒めたる聲聞辟支の群を下ること更に幾百萬等、受け難き人身を此世に受け乍ら我慾の毒焔に眼眩みて蛇蝎の己が頭上に臨むを知らず、邪念徒らに閃して危機一髮に迫るを覺らず、外魔境裡に眩曉して浮雲の名利を爭ふ、無常の風倏忽として變ふ時、良心電の如く閃きて寒毛卓立するも事已に遲し。

○我等は當地に來る間、北滿洲に於て甲者の數年地盤を爲せるところに、同業の乙者來りて營業するを不快なりとし、相排する結果漁夫の利を支那人に占められ、自己の得たる經驗智識を他に移して相共に進む商道を體する紳商稀なるを耳にして何地も同じ宿弊を歎めり、商に道あり業に德の伴ふべきは倚古今一貫の大道炳乎として明かなるに異ならず、國家を利し、社會を益し、他を富まし、已れ備くる大願信あり、始めて商人の尊稱を冠すべし、無慚なる功利の徒を商者と名くべくんば國家は商者なきより至幸なるは莫けむ、希くは自から內に反して須らく精彩を著け以て觀照し來り觀照し去れ、惟れ精惟れ一、允に其中を執らば已に毀損せる惡評も深く憂とするに及ばず、前途の光明汝が脚線下を照さむ哉。(三十一日)

料理の友

十二月號(美麗なる彩色密畫及精巧插畫百餘個挿入)

一家團欒の樂しい夕飯獻立 ▲二人前四品が十錢で出來る新式折衷料理
簡易生活の精神(東郷博士)
▲大根と蕪の京都式料理十三種
美味い蒸し鮨の拵へ方
▲家庭で出來る食パンと餡パンの製法
家庭生活の妙味(宮田脩)
特色ある豚肉料理十三種
家庭の改善(法學博士 山脇玄)
蕎麥粉で出來る西洋料理五種
勤勞と慰安(高木壬太郎)
▲家庭で出來るおかめ南蠻蕎麥料理
溫かい茶碗蒸しの拵へ方二種
▲趣味あるクリスマスの御馳走のいろ〳〵
家庭料理の奧義(巽鐵男)
▲手輕な忘年會の御馳走 ▲模範的臺所の設計
經濟で滋養ある輕便蒸しパン製法

價一冊二十錢(郵稅二錢) 每月一回一日發行
東京丸ノ內 大日本料理研究會 振替東京二三四九八番

教員養成

小學本科正教員、准教員、尋常小學本科正教員檢定試驗受驗科目各科大部分男女師範學校新學期開始
講師授業敎論其他知名大家
此際入會者に限り大特典あり先づ會則を看よハガキにて申込次第進呈
會長澤柳文學博士
東京市牛込區津久戶町二四 日本師範學會

淑女画報

十二月號 定價三十錢 郵稅三錢

―畫報の一部―
▲皇后陛下最近御眞影
△皇后陛下の御茶の水女學校行啓
△立太子禮當日の皇太子殿下
△露西亞より御歸朝の閑院宮殿下
△帝國劇場御成の久邇宮二女王殿下
▲花の日會の名流婦人の活動
△名流夫人と名家の令孃
△壽像除幕式に於ける大隈侯爵一家
△獻上ダリヤと大谷伯令孃
△懸賞寫眞「何所に行く」…受賞百名
▲文展推選と特選畫

佳人薄命の因 三宅博士 三輪田元道 馬場孤蝶 下田次郎

―讀物の一部―
▲無分別に上京した女の末路 山室軍平
▲見ねざる世界 內ケ崎作三郎
△我家の年末年始贈答品 岡崎ふさ
△衞生で便利な衣裳部屋 櫻田節子
△火事の豫防法 緒方部長
▲愛の勝利(長編小說) 小栗風葉
△閨秀畫家の今昔譚 木下S女
△女學校怪異譚(完結) 秋子
△死人の塔(活動寫眞) 藤波芙蓉
△身長を增大する法
▲アラビヤ夜話 不思議な家 紅夢郞譯

東京本町 博文館 振替二〇四番

熊平謄寫版

謄寫版原紙大製作ヲ開始仕候間陸續御用命奉希候
京城本町二丁目 熊平文店 電話長六二四番 振替京城二二番

各國時計 自轉車 蓄音器 直輸入 卸商 喜多金光堂
京城黃金町二丁目(電話一〇一五番) 振替口座七八二番

所設立要に寄附したる…なるが倘ほ氏は亞鉛鑛業其他各關係…の友人なりし大同生命第三部長木村…次郎氏は故人と同縣出身にて多年の…だ用意の周到…は住吉の… 置き追て大阪に出張所を置くといふ…の老父及び長女恭子を遣せる竹…

凄じき機關銃の威力

マキシム氏逝く＝千輪大尉の談

「發明者逝く」（機關銃の發明者サー、ヒラム、マキシム氏は廿四日逝去せり）との報が齎らして龍山軍司令部副官千輪大尉及び野津大尉を訪ふ曰く

目下歐洲大戰亂に列強が鎬をけづりつゝある時に際しマキシム機關銃の發明者が死んだことは

◇**大に意義深き**ことと云はねばならぬ、日本に始めてマキシム機關砲といふのが來たのは明治二十三年のことで其の明治二十九年にホチキス機關砲といふのが渡來してわが國の機關砲は後者によることとなつたマキシム氏が始めて機關砲を發明したのは今から三十三年ばかり以前のことでそれよりずつと以前には嘉永慶應年間日本に渡來したカツトリング式といふのがあつた、カ式は一千八百六十五年カツトリング氏が發明したの

◇**輪回式の砲で** これは澤山の砲身を束にしてそれを回轉しつゝ撃ち出すのである、後ち五年にして佛國に霰發砲が發明され早速普佛戰爭にも用ゐられたものだが近來は此の外にマトセントキール、ペリノー、スコダー、シユワルツローゼベルクマン等の機關銃が出來た、そして最近に出來たのが携帶機關銃である、日本陸軍のは卅八年にホチキス式を改造して

◇**三八式機關銃** といふのを制定し口徑十一粍以下のものを機關銃と改稱したのである――それまでは概して機關砲と稱した改造の機關銃、裝填發射共に自動的であつて一分間に五六百發の小銃彈が雨の如く連續して出るので普通の小銃の如き銃身では忽ちにして赤灼し銃身が曲つて了ふのである、それで絶えず

◇**銃身を冷却す** る必要がある爲め水或は空氣で冷却するのである、日本のは此の空氣で冷却する方のホチキス式であるから銃身はなるべく空氣に觸れる面積を多くしてある、そして猛烈に發射を始めると銃口から火箭が見ゐるがこれは無煙火藥の中に有煙火藥が混つた爲めである元來機關銃といふ奴は

◇**馳の最後尻の** やうなもので始めから連續射撃で撃ち出しては砲兵からやられて了ふ、それで愈よ敵が有効射程に來たときにカタカタ／＼／＼!!とやり出すと忽ちにして敵は薙ぎ斃されて了ふのである、殊に突撃して來る敵に對しては非常な有効なもので日露戰爭の時などは隨分猛烈にやられたものである、我輩なども滿洲の

◇**曠野で高粱の** 桿を薙ぎ倒して來る雨のやうな機關銃丸に見舞はれたものだが併し斷じて突撃すれば鬼神も避くで精功な機械の力も軍人の精神には勝てぬものだ

▽痛快悲壯の 薙射の經驗 野津大尉の談

「我輩なども日露戰爭の時には盛んに露兵の機關銃に見舞はれたものだあの時露兵は惜し氣もなく

▽**銃砲彈を** 亂射したもので殆んど一人の斥候の影を見てさへ機關銃を發つたものさ、殊にあいつが滿洲名物の高粱畑でザア／＼ザア／＼と雨のやうにやつて來る時には眞當に面を向けん樣もなしといふ有樣、カタカタ／＼／＼と薙射を始めると林のやうな高粱が

▽**同じ高さ** にバラ／＼バラ／＼折れて行くところなざあ痛快悲壯なものであつた、殊に僕等が奉天附近の森林中でやられた時にはゴーッ／＼と十臺許りの電車が過ぎるやうな音響を立てた、あの時露西亞の

▽**機關銃は** 皆堅い音を立て丶カンカラカンカラ組をた丶くやうな響きがした、それに戰線にまで太鼓をはやし立てるから太鼓の音と機關銃とが共鳴して囃しながらやつて來るので面白かつた、日本の機關銃はまた人を

▽**莫迦にし** たやうな音響でヴバア／＼バア／＼!!とはため渡るのでこれには露兵も弱つたらしいそれに地名は忘れたが或る陣地で敵の逆襲をうけ殆んど聯隊全滅しかけたときのとであつたが一人の兵がやつとのとで一臺の機關銃を擔ぎ出し敵の

▽**十字砲火** を冒してカタカタやり出した時には面白い程敵が斃れた、あんな時には機關銃が一番だね……」

露國の露日協會と貴族院

寺島誠一郎伯の談

露國の上院議員は其の性質及び組織が日本の貴族院議員などとは全く異つた面白い處が有る

▼**上院議會** を成立せしむる議員の者は日本の貴族院議員と同樣に皇族及び往昔の王侯、國學の勳功ある者及び學者軍人貴族富豪等の間より勅選せられたる者等にして其の數は非常に

▼**多數を算** して居るが此等の上院議員は一種の名譽議員として上院議員の名稱を賜つて居る丈けで有つて毎年會期に先立つて特に皇帝陛下から召集を蒙る者は其の内の少數に限られ其他の

▼**上院議員** は議會に出席して發言權を持つて居らぬ日本の貴族院には議員の資格を有する人々には出席の有無に拘らず議席を設けて在るが露國の上院には全く議員の數丈の

▼**議席が設** けられて居らぬから或階級以下の上院議員は上院議員に勅選せられて居りて議會に出席する勅命を蒙る資格者の如うなものである議事も日本などの貴族院とは

▼**全く別物** で多くは皇帝の諮問に奉答するのであるから日本の貴族院と樞密院とを兼ねた中間のものといふやうである話は違ふが日本には日露協會と云ふものが有つて以前から寺内總理大臣が其の會長となり後藤内相が副會長と成つて居るが

▼**會の性質** は個人的のもので一種の國際的意味を加味した社交的のものであるに然るに今回露西亞に行つて見ると露國には同じく露日協會が設立されて居つてココツオフ氏が其の會長に成つて居るココツオフ氏は

▼**總理大臣** にも一度大藏大臣にも二三度成つた純官僚系の人であつて露國の將來の政局は此の人に出つて料理せられなければ成らぬと云ふ程官民一同から多大の

▼**信望を寄** せられて居る人であるが露日協會も日本の日露協會とは全く其の性質を異にし半官半民的の協會である萬事官僚でなければ成らぬ官吏萬能の露國の事であるから此の

▼**露日協會** は非常に有力なる半官的團體である故に將來露國に於て活動せんとする日本人は須く此等の會と相當の連絡を取つて事を圖る事を忘れては成らぬ

柳都景物誌 千帆

(5)**玄武門** 大本山永明寺のマツチの函を立てた樣な門にはお聞が出て居た。若い僕と松の根を蹈つて徑を上つてゆくと少さなトンネルの前に出た。これが玄武門ですと云ふ聲に驚いて見ると、成程トンネルの口に玄武門と書いてある。赤や青のピカ／＼した樓門の前で、金時の樣な紅い顏をして鐵砲を振り上げて緊張して居

ろ原田重吉君の繪姿がめり／＼と想ひ出される所が繪でみた樓門の金銀泥燦然とした安卅美麗なのに引きかへて、これは又頗る見窶しい門である。京城の下水にだつて、も少し立派な門を持つて居ると思つて見てゐると『何んだこれか』と太い聲がする『うんこれだ』と異つた聲が答へる。振り顧ると兵隊が三人立つて居た。『何んだこれか』と云ふ聲の次ぎの瞬間には、もう兵隊の一人が門の上に上つて、こんな門が何んだ、馬鹿／＼しいと云つた風な顏つきをして同伴を見下して居た。『中村、さう輕蔑したもんぢやないぜ、これだつて十字砲火ぢや堪らんからな』すると『それもさうだナ』と云つて門の上の兵隊はズル／＼と石壘を辷り降りた。土堤の上の標札が字を細くして笑つて居た。

(6)**乙密臺** 牡丹臺に上つて牡丹臺を下りて松林を辿ると乙密臺の下に出た。鶯啼くばかり高い石壘が眼前に迫つて來る。石壘の上の樓門には瀟山の山鳩が、秋の陽に翼を輝かせて長閑に鳴いて居た。徑は石壘の側面を傳つて臺の上に上る。上るとそこに四虛亭があつた。柱や欄間に無數の銃砲玉の痕がある。二十年以前の古創だ。故夫日本兵ともあらうものが柱を覗つて撃つたとは思はれぬが、要に角日本兵の覗つた銃砲玉の痕だ。それでも六百年の由緒ある古建物を毀さない樣に銃砲玉を打つつけた所は流石に日本の兵隊だと感つた。ここからは浿江の水が一と眼に收つて來る。キラ／＼と白く閃めく水の上を輕快な帆舟が流れて居る。彼の葉の様に長い細い舟が引かれながら遡つてゆく。寂びたい景色だ。この繪の中へ花電車の樣な畫舫がランチに曳かれて入つて來る圖に想到すると又してもくなる。遠い地平線の邊りに白い雲が揭つて居る『あすこが寺洞の炭鑛です』とM君がステツキをあげて敎へて呉れた。

怎して賊を防ぐか

拔け目の無い遣口＝贓品の行衛

賊の方では忍び込むと火鉢の火の埋め方を見ても家人の留守である事を知り先づ緩然と構へ込み殘飯でも食つて仕事に掛るのであるが此際人影が見られれば決して侵入し得るものでない、横著なやうでも存外

▲**膽玉の小さい** ものは泥棒で蔭からでも『泥棒!!』と一聲怒鳴ると什麼者でも必ず逃げ出す賊を防ぐ要は留守を明けぬに限る、己むを得ず外出する際は細心に注意して戸締りを嚴重にする、戸締りが丈夫であれば容易に侵入することが出來ない、大きな音を立て丶破壞すれば近隣の者から怪まれるから目的を達し得ない、更に盜難を防ぐには近隣の協同が最も必要である、然るに京城居住者中僻には

▲**壁一重に隣合** つて住まつてゐながら碌々挨拶も交さない者が多い是れは人情美を傷くるのみならずお互に損耗を來たす原因である、隣家に賊が忍び込んでも係り合ひにならぬ樣に知らぬ風を裝ひ、翌朝になつて初めて知つたやうに『驚きましたね』位で陰では嘲笑ゐるといふやうな薄情競べは感心しない、賊の方では斯樣な所迄も探究してゐるから拔目がない、夫れで隣近所が何れも惡意にしてゐる一區域には容易に這入らない、次に警察の方でも偶には賊の

▲**現行犯を取押** へることもあるが多くの場合贓物から足が附いて賊を發見することが普通であるから大泥棒は比較的容易に捕まるが何所の家でも在るやうな小さな品物を竊取された場合其の贓品は發見しても其犯人は却々見附からない、殊に朝鮮人の掻つ浚ひ專門の泥棒の如きは織物を巧みに賣り捌き衣類器物も原形を改造して朝鮮人の古物屋に賣り込むといふ手段を執るから

▲**犯人は容易に** 判明せない倘ほ泥棒は猶且前科犯人が割合に多く隨つて住所も不定の者が多い、朝鮮人で内地語の巧い者になると和服を著て内地人風を裝ふて荒す者もある、是等は被害者の方でも犯人を内地人と誤認して申告するから飛んだ間違ひを生ずることがある、斯うして日夜犯人の檢擧に努めてゐる警官が苦心慘憺の末犯人を引致して來る其の犯人の

▲**風采や人相等** を熟視すると全く大泥棒など働き相もない溫和な面相の者が多い一概に泥棒と言へば大抵獰猛奸惡な鬼のやうな顏でもしてゐるかと豫想されてゐるのは大間違ひで中には女のやうな優男もある（つゞく）

四人組の強盜

忠南論山郡土月面大牛里金彰鉉（四二）方に十一月七日夜四人組の賊侵入し一名は戸外に見張りをなし三名は内房に押入り彰鉉及び泊り客なる同郡天赤面馬九坪里の趙益善（五三）の兩名を毆打して現金五十餘圓及び衣類雜品等を強奪逃走せしが當時同家には前記二名の外に論山郡天赤面甘寺里鄭仁求（三一）大田郡杞城面牛鳴里金夏鉉（二一）扶餘郡鎭岑面上細洞金承斗（五二）等も泊り合はせゐたるも何れも強盜の爲す儘に委せ著衣等迄も剝ぎ取られたりと

中岡默堂氏

道の會の通俗敎談者中岡默堂氏は這回滿洲よりの歸途二十一日入京西大門倶樂部、龍山驛、南大門驛、三越、鍾路小學校等にて種々面白き敎談を試みたるが二十八日更に櫻井小學校、女子技藝學校、基督敎青年會等にて得意の敎談を試むべし猶ほ仁川、元山を經て京釜線を南下し木浦釜山等に於ても講演の筈にて到る處歡迎せられつ丶ありと

監禁して弄ぶ

京畿道驪州郡大神面後浦里居住南允五（三五）が三年前に妻を喪ひ本年九月二十六日午前十時頃豫て懸想せる同面加山里亡趙德順妻孟姓女（二一）が自宅前を通行し居りたるを毆り飛ばして引つ捕へ居宅内房に三日間監禁して弄びたる事件は此程京城地方法院にて南允五は懲役一年の處分となれり

西大門に棄兒

京城西大門町二丁目李元基方裏門内に二十日午後七時五十分頃本年九月二十日生れと認めたる紙片を結びつけたる鮮人女兒が遺棄しあるを發見し鍾路警察署より保護出張檢視せり

金牌受領 髮を黒く長くつやを出しさらくとして髮の爲めを防ぐ事妙 本椿香油

うわさのうわさ

▲昔の高野山も海に行つて男禁制で通つた富美館家でも開業滿三年目といふので不淨の評判にしてゐる甲乙の男女を問はず招待して自祝の宴を張つた▲此の家で開業して、どうやら、一人歩きが出來るやうになりましたからといふ女將の話宜しく、うん／＼詰め込んだ上に御手の物とあつて福助、光菊の老臣から近頃八釜しい二千兩の妓まで一族郎黨を一個中隊程狩出したので座敷が身動きもならぬ始末▲その席にゐた或人が曰く、京久家の女將の世渡りは樂園で行く主義、千代本は平手でソロリの流、五龍肝の溫泉のお主は此の二つを兼ねて居り▲富美館家は以上の連中とは違ふが初手から何んでも下手に出てそして確かり捉まへて要領を得る方▲此席が女將の成功する所以さと御贔屓の御醉心ばかりでも無さうな事を云つてゐた

▲**黄金館** 二十八日より全部新寫眞と差替ふる筈にて例の活劇黑い箱は第十四篇（秘密書類）第十五篇（決死の解決）にて終結を見るべくその他の重なる寫眞は左の如し△實寫英國海軍陸戰隊△滑稽危ない用事△舊劇俠客佐原喜三郎全三卷△新派連續劇金剛石長尺△活劇黑い箱終編

▲**有樂館** 二十七日より全部新寫眞と差替へたるがその重なるものは左の如し△實寫バテー週報△喜劇女中入用△滑稽窓外の拾物△活劇大臣の奇禍全三卷天然色△舊劇白浪五人男日本左衛門全五卷七十五場△新派悲劇いさみ肌全三卷

▲**壽座** 大阪歌舞伎女優中村外花一座にて開演中なるが入場料の安いのが一部の客を呼び居れり

▲**若葉會淨瑠璃納會** 竹本梅若一派の素人淨瑠璃若葉會にては二十八日本年の納會を開く其の語り物は左の如し△廿四孝（梅清）△合邦（大さ）△彦九（新尚）△あけがらす（金蝶）△伽羅先代萩（照盛）△赤垣源藏出立（千佐）△堀川猿廻（大さ）お俊（梅清）おつる（忠若）△三味線（梅若連れ（金蝶））

京日案内 普通

◎日本教育品合資會社に於て朝鮮販賣員採用す希望者は履歴書携帶來談 京城櫻井町二ノ二〇 酒本 794
◎諸病、姙娠、梅毒胎兒雌雄、肺結核其他試驗所 本町三ノ七〇 801
◎電話讓受けたし 本町 飯塚 802
▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆 群書堂 779
◎古本熱心高價買入 ◎是非御試賣を乞ふ 電話二七八一番
◎見習看護婦至急入用 本人御來談あれ 南大門通り五丁目 小川醫院 793
▼パイン萬年筆 販賣と修繕 京城本町◎電二五二七◎ウツボヤ書店 591
◎社員中山清治は橫領其他の不都合行之候に付解雇す◎京城長谷川町帝國公債信託株式會社朝鮮支部 796
◎社員清水浩は釜山出張後逃亡致候に付解雇す◎京城長谷川町九十一帝國公債信託株式會社朝鮮支部 797
園 恭 午後六時より 五人拔呈賞品 旭町一丁目 旭倶樂部
◎但馬名產柳行李大小各種新荷着並に古本高價買入します 京城本町三丁目 但馬屋號 北村商店
讓店 菓子店明治町目拔の場所 希望の方は至急御來店あれ（姓名在社） 785
古本なら野村 明治町筋 電二六三六 野村書店 買入誠實御報參上 636
◎事務用煉瓦造二階屋大小數棟有 貸家 京城長谷川町五八番地 ゴルシヤルキ 756
◎習字御手本類は何でも有ります（日鮮送呈）東京市南神保町九 精華堂法帖店 743
◎乳母至急入用 御希望の方は若草町百〇六番地 穴澤方に御來談あれ 776
◎證明付 丹頂鶴一番賣物あり 希望の方は左記へ照會下されたし 京城本町二丁目 梅元商行 783
◎日鮮男女外交員募集 月收五拾圓確實 希望者ハ履歴書携帶本人來談あれ 京城初音町六十二番地 國民書院 782

番外

讓店 賣藥、化粧品、小間物其他 日用雜貨業 最有利多望の老舖也 （姓名在社） 492
社員 北澤活治 背任其他不都合の行爲有之候に付解職す 帝國公債株式會社支部 京城長谷川町九一 電話二〇一七 798
支那領事館通り 事務所向貸家 希望の方は電話一一四〇番へ 803
英語 普通會話作文に通じ事務に經驗ある者一名雇入る 希望者は自筆和英兩文の履歴書携帶午前中に來談せらるべし 仁川 廣昌洋行 799
女子集金人 急募集 （至） 但し集金に經驗ある者を要す 京城大平通二丁目電話二八三一 商業銀行債券部 804
朝鮮語科 英語科 新學期 三ケ月修業 各級補缺 募集 南大門通（漢城銀行向ひ） 京城靑年會 795
礦物定量分析 坂元分析所 京城府太平通（朝鮮公論社左小路） 電話一三四四番 767
開業披露の爲め本年中一割引にて總て滿團開付にて一泊三食四十錢より御下宿一ケ月十圓より 太平通二丁目二二八 旅館 三好館 778
恩給 年金 低利 即時現金 短期無保險並に勸業貯蓄債券買入 立替 京城永樂町二丁目（金光敎北手）國江商會 643

△獵期と魔法瓶 魔法瓶中瓶取替 京城本町一丁目 高木旅行用具店 662
◎はねつき（うちみ・くじき）等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 584
◎株 成金愈々續出す 大阪野村德七代理店 京城本町二丁目 電話（長）九九三番 黃金町三丁目十五番地 永樂町停留場北入萬成舍隣 田中吉友商店 638
◎質 開業 濱田 750
◎京城春川間每日午前八時出發 京城春川間行自動車賃金片道四圓 南大門通一丁目 電話二一二九番 廣橋自働車組 主務 金正淵 630

痔の病者に告ぐ

愚息秀雄數年來痔疾の難症に罹り不治の難症なるべしと一家悲嘆の折柄過々京城南大門通り二見枝院長の注射療法を試みしに一朝にして拭ふが如く根治したるは寔に驚くべく一家の喜びは更なり此の喜びを一人恣まゝにする能はず追々嚴寒に向ふ折柄の同病者の苦痛を思ひ玆に此の眞實なる經過を廣告して此の慶事を頒たんとす 京城黃金町三丁目二百五十番地 湯淺信太郎

旅館出張の肛門病專門久枝院

新刊書御案内

書名	著者	定價
▲悟道の妙味 釋宗話		九〇
▲ペン手紙と葉書の書方 黒柳勳		八五
▲會社法講義 完	松本烝治	一、五〇
▲公民及勤勞敎育	湯原元一	一、三〇
▲現代女子訓	松浦政泰	一、一〇
▲習字小倉百人一首 兼用	尾上柴舟	七五
▲戰後の變動と國民性敎育	中島力造	八〇
▲修養十二ケ月	岩原洞爾	一、二〇
▲大日本維新史	三生坊道人	七〇
▲歌謠古今和歌集遠鏡	山崎美成	七〇
▲俳諧師（縮刷）	高濱虛子	一、五〇
▲果樹栽培指針	福羽逸人	三五
▲ともづな	未摘花	一、三〇
▲趣味と栽培 四季の園藝	前田曙山	一、二〇
▲突つながら正式の算術	中村八郎	五〇
▲代數學問題詳解講義	石野藤五郎	二、〇〇
▲三角は斯の如く考究せよ	根津千治	一、九〇

大阪屋號書店 京城本町二丁目 電話二〇八番

食道樂 開店 ▲▲やすくおいしく なんでも致します▼▼ 春川 （電話は「三七」へ） 松葉

明治公債株式會社

社員募集

京城黄金町 朝鮮支部
釜山幸町 朝鮮外事部
同 所 釜山出張所
太田榮町 太田出張所
群山明治町 群山出張所
清津敷島町 清津出張所
平壤本町 平壤出張所
元山仲町 元山出張所
大邱三笠町 大邱出張所
木浦大成洞 木浦派出所
咸興大和町 咸興派出所

大景品附歳暮大賣出

十二月一日より

京城本町 三中井吳服店 電話三七番 振替口座五二四番

所在地 釜山 大邱 元山 晋州

怒濤の月

小林蹴月作 武內桂舟畫

(五) 義理責め「二」の五

一體總十郎と云ふ男は、見た所以上の善人である。それでも、彼の生れは、德川家八萬騎の一人で、白富何の守とか呼ばれた家の長嗣子であるが、王政御一新の大業と共に、泰平三百年の夢から、どんと突き放された彼の一家は、無慘至極なる悲運の淵に沈溺して了つた。風雨四十餘年あらゆる艱苦と鬪ひ、あらゆる悲慘を嘗め盡して來た彼は、只さへもお人善の性質に加へて、境遇の流轉變換と共に又義侠か智能の活力を鈍らせて了つたのである。彼は今、麹町の行政裁判所の使丁を勤めて、その不健全なる老軀をほんの機械的に動かしては、月々の家賃と米代とを稼いで居るのである。で、絹代を産んだ先妻の初代が十八年以前、冥土へ旅立ちした後は、今のお久を後妻に迎へて、家族は只ッた三人ほかない理風であるが、その實、後妻のお久には、今年十六になる憲吉と云ふ連れッ兒があるので、お久の此の子を可愛がる事は又尋常一樣でなかつた。その子は今、銀座邊の或る大商店の丁稚奉公に住み込んで居るのであるが、お久は貧に貧を盡くした極貧の中からでも、工面に工面を重ねては、小遣ひ錢や衣類の仕送りを爲ると云ふ風なので、それが爲めに、切り詰めた生活向は、愈々不如意がちとなるばかりであつた。

勿論、絹代も此の中に育つて、只は遊んで居なかつたのである。小學の尋常を了ると直ぐに、或る屋敷へ奉公にも遣られた。かと思ふと、屋敷奉公は收入が少いからと云つて、電話局の交換手にも出された。けれども、何分にも幼い時から身體が脾弱い質なので、家の手助けとなる程の働きも出來得なんだ。芳紀二九の今日までと云ふもの、殆んど繼母の口小言の的となつて、肥りも得ずに生長つて來たのである。けれども、父の善良なる血を享けて生れ付いて來た絹代は、世の所謂繼母育ちの片意地ともならずに、極めて無事な內氣な溫順な娘らしい娘であつた。所で、その如く無事な內氣な溫順な絹代が、今日の問題に限つて、何故こんなに兩親を困らせて居るのであらう？是には云ふまでもなく、さま〴〵の入組んだ事情のあればこそであるが、就中て、絹代の心に『觀念』の臍を固めしむる事を許さぬ理由は、幸三郎と云ふ稚い時からの許婚があつて、それに對して、什うしても人間の道――女の貞操を立てねばならぬと云ふ深き心の誓ひがあるからの事である。

幸三郎の姓は、倉橋と云つて、その父の代までは矢張槍一筋の家柄であつた。そして總十郎の先妻たる絹代の實母の里方と云ふ關係もあるし、白富家の爲めには、隨分是まで陰になり陽になりして、尠からぬ助力を爲て呉れた義理と恩誼とがあるのである。

繼しい仲の母は兎もあれ、父親までがそれに同意して、慾の爲めに此の身を犧牲に供しやうと爲るのは、絹代に取つて、何とも彼とも譬へやうのない心外な話である。『他の事ならどんな事でも肯きますが、是ばつかしは……』と、云つて、絹代が此の半月ばかり以來、涙の源の涸れはてるほど泣きに泣きつゞけて居たのも、眞個それが爲めなのであつた。

圖らざりき、今日の今！松崎と云ふ男が三百圓と云ふ夢にすら見た事もない仕度金を擶へて來て、先づ兩親の眼を眩ました上に、進退させぬ手詰の土壇場へ無理往生に坐らせられた絹代の口から……只さへも內氣な、只さへも溫順な絹代の口から、什うして遽かに挨拶の語が出さるゝものであらう。什うして遽かに突つかけて來る血の涙を喰ひ止める事が出來やう。

「……………………。」

絹代の口は、永へに縫ひ付けられたやうに無言がつゞいた。そして、悲みの憤りに堪かねたやうな顫ひを示すのみであつた。

「お孃さん、御氣分がおわるいさうですが、氣候がわるう御座いますから、御大事になすつたが好いです。然し、白富さん、此の金をお受取り下すつたからには、既う何事も解決です。二三日の內に私が改めて、お伺ひ爲ますが、その節は何處か手近な料理屋でゞも、お孃さんを始め、貴方々も御一緒に御飯を喫めたいと思ひますから、御仕度の方は萬事宜しくお願ひ致します。」

松崎は、若し變換でも爲れてはと云ふ懸念からであらう、金包みを差置いたなりで、そろ〳〵歸り仕度に取掛つたのである。

南山町三丁目巴城館通電話二九二〇
齒科診療 橋本齒科醫院
齒科醫學士 橋本清次郎

京城南大門驛前三見館內（電話六六七）
肛門病痔疾注射專門醫院
出張期日 患者の都合に依り來る十二月十五日迄延期す
患者參考 最新式痔疾根治注射療法書申込次第進呈

本町二丁目浦尾旅館前電話七四二番
內科 小兒科 婦人科 京城醫院 村上憲佑

十夜吟

蜜柑 浮碧樓

蜜柑ぬすまれたる藏前掃き居り
塀のかぎりの蜜柑いろめきぬ
蜜柑山あらはる〳〵電柱あたらし
○手のとゞく蜜柑もぐ空蒼し 柳
蜜柑數よむ聲々になだれ 虹
川を南へ櫻窓の蜜柑晴れ 華
○蜜柑山盛り寒潮ひた押す 耳
台場もくづれて蜜柑船來るなり 虎
○餅既ぎの日の眞赤な蜜柑 池
○蜜柑酸ッぱき大根掘る朝 目
○障子貼りかへて蜜柑の夜となる 鳥
朝蜜柑店の時計をのぞく 朝
並木街の木の間の蜜柑店 堂

新刊紹介

▲『少年』と『少女』十二月號 兩紙は滿天下の少年少女諸君が歡呼喝采裡に本年掉尾の盛裝を凝らして發行せり先づ第一に『少年』の內容は本誌獨得二頁大の口繪秋光畫伯の畫讃『天照大神』溶樽抱擁なる榮天畫伯の畫讃『保護鳥』本田、原兩畫伯の彩色畫及び寫眞版には『立太子禮當日の皇太子殿下』二頁大の『今上陛下立太子禮當日御參內の光景』『今秋の大觀艦式』『壯快を極めたる今秋の野球界』等あり讀物には戶田東宮主事謹話『東宮殿下の御日常』川本學士の『獨逸潛航艇』吉内氏の『誰にも出來る紙細工』長田宗右作『探偵奇談魔法部屋』竹博士の『靈學談』『少年記者の奇功』『お伽小說片輪鳥』『史談勇敢なる希臘兵』『實話露營中怪火に襲はる』『お伽科學方法』『高塔の罪』『探險旅行』『公孫太刀』等重なるものなり『少女』には二頁大口繪玉葉女史の『笑咲きし本田畫伯の『南國の冬』吉田畫伯の『春の御仕度』金子畫伯の『松の鏡』等何ぞ美しき哉フセット影『立太子禮當日の光景』其他を敍め讀物には好箇にして寫眞版には『國母陛下最近の御寫影』師滿くが如きお伽教訓『初奉公』を始め『對話エデンの園』『小說謹籠に咲く花』『口語詩視不孝の野火』『伽敎說の『ラーすン昔話』探偵奇談『一縷の光明』等の外通俗學術談、世間ばなし『大正賞品遊戯表』は興味極溢せり（兩紙各十六錢東京京時事新報社發行）

▲圖書通信月報（四の一） 物通通信專を初め新年用の文學、美術、小說、講談、講話、短文等新聞雜誌及び商店用初刊諸材料の見本を網羅したり紙質精良印刷鮮明印刷出版業者の好資料たるべし（非賣品東京市芝區櫻川町七共社）

讀者の領分

▲人道の敷石上へ痰を吐き散らすのは市民の健康上有害な事は知れ切つた話だが見るのさへ實に不快でならぬ若しそれ知らずして下駄で踏んで辷べりでもしようものなら慄然して頭の髮迄一本立になるほど無氣味なものだが何とか取締つて往來で痰を吐かせぬ樣にする工夫はないものか（衛生家）▲近來濃霧がよく立罩めるが何だか倫敦の景色が偲ばれる（洋行歸り）▲上海から歸つた某氏の話に上海邊りで乞食が自分の腕へ鈍刀を突き立てたり瓦の破片で自分の胸を傷け鮮血を流して人の憐みを乞ふなど其國獨特の國民性を覗ふ事が出來ると話して居たが京城邊で支那人と云へば非常に小鳥を愛好する國民だと思はれて居る何だか其處に矛盾がある樣に思はれる（御大將）▲僕は櫻井町邊の某店で毎度砂糖を買つて居るが量つて秤つて見ると一斤が百五十匁しか無い秤器が惡いのかと思つて調べて見たがそうでもない隣りの奧さんにも知らせて秤らせて見たら矢張百五十匁しか無いはてな一斤は百六十匁と記憶して居るが（壺所率行）▲此頃は氣候が暖かで運動の好季節だ各所の運動家は御互に連絡を取つて大いに斯界の爲めに氣を吐うではないかそれにしても公衆の運動場が欲しい（運動狂）

御內意により謹製したる 美顏洗粉

◇高貴方の御不自由

皆樣御承知の歐洲の戰亂が長びいて、舶來品輸入の途が塞りました爲に就て、其向々でお困りの方が少くありません。中にも化粧品が來なくなつたのには不便を感ぜられる方が多く、殊に高貴の方々は從來大概西洋品をお用ひになつたので、御不自由もまた一通りでありませんでしたが、內國製品使用獎勵の聲が起つてから、先づ上の方々から其れを御實行のお積りで、段々と御檢査の後、日本製品の中で優良なものも現れましたのは大に喜ぶべき事ですが、中には未だ思はしくないものも御座います。

◇有難き御內意

中にも洗粉に就ては、隨分品質の良い品が無くはないやうですが、未だ充分高貴方の思召に適はぬのか、或筋から弊舖へ誠に有難い御內意を傳達されました。其れは完全な研究の機關のある美顏白粉本舖で、これならばと思ふ自信のある洗粉を新製しては如何かといふ御注文の意味の籠つた御內意です。弊舖では意外な光榮に感激して謹んで御受しましたが、從來の洗粉と大同小異の品を製へたのでは、新製の意義も價値もありませんから、兎に角相當な御猶豫を願つておきまして、研究試驗部に於て、顧問丹波山本二博士、主任技師桃谷、小磯、齋藤の三藥學士の智識を搾り、苦心研究數箇月、にして漸う是ならばと自信のある洗粉が出來上りましたので、早速御試用を願ひましたところ、幸ひにも非常にお氣に召されたので、其後引續き御誂へに應じて調製して居りました其洗粉を、此度愈々廣く世に發賣する事に致したのがこの美顏洗粉なのです。

◇美容術大家 ルウ井ズ孃

今東京で、始終高貴の方々の美顏術と御化粧方とに召される名聲ある美容術大家マリー・ルウ井ズ孃は、故國佛蘭西の巴里美容術學校を卒業して日本へ來られ、其科學的智識と天才的技術とを以て、次第に高貴の方々を始め貴婦人紳士の間に御信用を博した方ですが、此方も高貴方の御用を勤めるにつけて、美顏術上の特殊な材料はそれ〴〵御自分で調劑されますが、一般の化粧品をお用ひの段になりますと、矢張輸入杜絶以來日本製品の中に適當な品の無いのに困つて居られたのですが、美顏洗粉が高貴方に召されてからは、先づ洗粉は是れで助かつたと賞美せられそれからは弊舖へお誂へになつて美顏術に美顏洗粉を用ひて居られます。

◇何處が違ふか？

美顏洗粉は從來の洗粉と違ひ、皮膚の清洗劑と共に、蛋白質、中性脂肪分、及び最近桃谷研究試驗部で發見完成した美容上最も有効な植物性の粘液素、次に清白作用と新陳代謝の作用を活潑にし、段々と垢ヌケするやうにする作用の極く盛な原料、斯ういふものを適度に配合して製へた品ですから、其効果も遙かに從來の洗粉に優り、皮膚を洗ひ浄めるばかりでなく、皮膚を柔かに滑かにし、美しい光澤を添へ、容貌の美しさを增し、更に續けて使へば次第に垢ヌケして色を白くする美容上の効果が完全に備はつてゐて、それに香の美しさ、使ひ心地の快さまで、すつかり行屆いたもので御座います。殊にこの洗粉は、氣持がよい程色が純白なので、一寸見ても他の洗粉とは大分違つてゐる事がお分りになります。定價は小袋八錢、大袋十六錢、發賣元は桃谷順天館ですが、美顏白粉を賣る凡ての化粧品店等に賣つて居ります。皆樣、この御內意に依つて謹製した洗粉はどのやうな洗粉でせうか、疾くお試しなさいまし。屹度皆樣のお樂みが一つ殖ゑます。

各種萬年筆即時修繕◎ 新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候定價送呈
京城旭町二丁目六番地 東京パイン萬年筆出張所

日韓書房 新版報告
川合春光著 強い身體を造る法 定價一圓七十錢 送料十四錢
ルトゥルノ著 剛島八十六著 男女關係の進化 定價一圓四十錢 送料十二錢
帝國南進策 定價一圓 送料十錢
原古川著 普通文官 受驗提要 定價七十錢 送料十錢
小波著 新家庭 女子供の卷 定價一圓九十錢 送料十二錢
京城本町二丁目 電話一四一 振替口座五一一五番

株式會社 朝鮮商業銀行
資本金五拾七萬五千圓（全部拂込濟）
諸積立金二十四萬百圓
京城南大門通一丁目 電話五五八番、六八一番 振替京城一六三四番
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰 支配人 豐田明敬
南大門支店 電話八四九番 振替一〇六二番 / 仁川支店
本町支店 電話一五八二番 振替一六〇六番 / 平澤支店
電話一八六三 東大門出張所

朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著
朝鮮語會話 定價金八拾錢 郵稅六錢
受驗者必携の資料●袖珍總クロース四百頁頗美本 江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡し尚要求盛なるに付改訂大增補を行ひ三版發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に採りては最親切なる解說者たり是非一本を供へられよ
發行所 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番
大取次 大阪屋號 日韓書房 嚴松堂 各地支局書肆

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七九二〇九番

攝津灘 大塚釀造所吟製
發賣元 京城本町二丁目 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行 振替貯金口座 京城三三二番 電話（國三三一、一〇六、一二六〇、一二六一、一六一三）
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山 出張所 鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口 右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

朝鮮郵船 出帆

本社 電話長一九五二番二一二三番 鐵道各社及社外船と荷客連絡輸送の便あり 支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店（電話長一七〇三）

○全羅丸 十二月五日 釜山發
○京畿丸 十一月廿六日
○黃海丸 十二月一日
○咸鏡丸 十二月十一日（門司より釜山各港寄港基間航路）
○鏡城丸 十二月四日
○昌平丸 十二月二日
○鏡城丸 十一月廿九日（元山より各港經由雄基行） 元山發
○第二鎭旗丸 十二月十一日
○忠淸丸 十二月七日
○平壤丸 十二月一日（城津湖浦經由行釜山より門司又は長崎行） 元山發
○盈德丸 十二月二日（甘浦、九龍里、浦項各港經由鬱陵島行） 釜山發
○江陵丸 十二月二日
○襄陽丸 毎日（長生浦方魚津寄港） 釜山發 浦項發
○三浦丸 十一月廿九日（長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港） 釜山發
○統營丸 ○巨濟丸 ○慶尙丸 毎日（各港經由麗水行） 釜山發
○海州丸 十一月廿九日（各港經由麗水行三日目一回水浦行） 木浦發
○順天丸 三日目毎に（各港經由麗水より釜山行に寄港） 木浦發
○慶興丸 十二月四日（各港經由濟州島行） 木浦發
○慶興丸 十二月二日（南多島、海列島行） 木浦發
○公州丸 十一月廿九日（各港經由濟州島行） 木浦發
○宗信丸 十二月一日（海州他各港經由、鎭南浦又は白翎島行） 仁川發
○江原丸 十一月廿八日（市島、大連、芝罘行） 仁川發
○麗水丸 十二月一日 ○晉州丸 十二月八日（各港經由木浦行） 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前（江華島、喬桐島、海州行） 仁川發

阿波共同汽船 仁川出帆

○芝罘、大連行 第共同丸 十一月廿六日入港 十一月廿八日正午出帆（關東都督府命令）
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送取扱仕候 大連にては青島行定期船接續荷客共直航路と同額運賃にて通し輸送御取扱可仕候
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番） 仁川代理店 野口商會 元山代理店 春日町（電話二四四七番） 田口回漕部 京城取次店 南大門（電話二六八・二〇一七） 河村運送店

大阪商船 仁川出帆

○外航路所屬航路連絡船の時は五分引を以て運賃御取扱仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神阪行
○安東丸 十二月四日
×漳州丸 十二月六日 後五時出
×天智丸 十一月三十日
○木浦、釜山、馬原、鄕の浦、長崎行
×信濃川丸 十二月十三日
×信濃川丸 十二月卅一日 後二時出
×群山、釜山、橫濱行
○湖州丸 十一月三十日
×臨州丸 十二月十七日 後二時出
▲鎭南浦、門司、神戶、大阪行
○大智丸 十一月 日正午出帆
×鎭南浦、門司、神戶、大阪行
○須磨丸 十一月三十日正午出帆
○鎭南浦、大連行
×信濃川丸 十一月八日
×信濃川丸 十二月廿六日 後二時出
○大連直行
×湖州丸 十一月十一日
▲鎭南浦大連行 湖州丸 十二月十八日 正午出帆
×臨州丸 十一月 日正午出帆
○滿津、芝罘行（元山出帆）
▲仁川、城津西湖津ニ寄港 浦潮不寄港
○安平丸 十二月五日 後二時出
▲宮島丸 十二月十一日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
基隆丸 十二月四日午後四時出
湖北丸 十二月十二日午前六時出
御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道各驛と連絡切符發賣仕候 ●御乘船御申込等は本社出張所にて御取扱可申上候 ●×印は一等
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二五〇番 內國通運會社支店 電話七〇八番
京城切符發賣所
●中國四國沿岸各港航路御取扱仕候